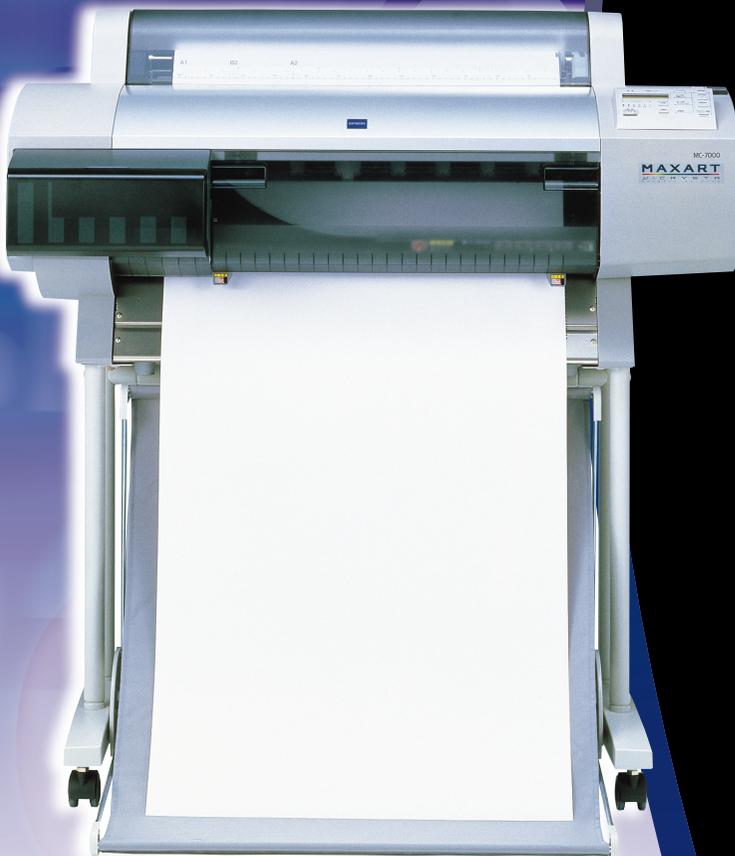
EPSON

MC-7000 スタートアップガイド

Startup Guide

MAXART
μ-CRYSTA
マックスアート・ミュークリスタ

- 本書はプリンタの近くに置いてご活用ください。
- プリンタソフトウェアは、必ず本書の手順に従ってインストールしてください。
  それ以外の手順では正常にインストールできません。
- 本書にない情報については、プリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているユーザーズガイド(PDFファイル)をご覧ください。

4012825-01
xxx

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

開梱と据置作業を行われる方へ

プリンタの搬入後、梱包箱から取り出して据え置くまでの作業について説明しています。作業を安全に行うために、必ず本書の手順に従ってください。

スタートアップガイド （本書）

プリンタ本体の準備、プリンタドライバのインストール、印刷の手順などプリンタを使用するための情報が記載されています。
本製品を安全にご使用いただくための注意事項、およびサービスサポートのご案内が記載されています。製品の設置およびご使用の前に、必ずご一読ください。

ユーザーズガイド

プリンタの機能、操作方法など本プリンタを使用していく上で必要となる情報が詳しく記載されている説明書です。ご使用の目的に応じて、必要な章をお読みください。
また、各種トラブルの解決方法なども記載されています。「印刷できない」などのトラブルでインフォメーションセンターなどにお問い合わせいただく前に、お読みください。

ユーザーズガイドは、製品添付のプリンタソフトウェアCD-ROMにPDF（Portable Document Format）ファイルとして収録されています。このファイルをお読みいただくには、Adobe社のAcrobat Readerが必要です。詳しくは以下のページをお読みください。
☞ 本書「ユーザーズガイド（PDFマニュアル）の見方」9ページ

安全にお使いいただくために

もくじは8ページにあります

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されております取扱説明書をお読みください。本書および製品添付の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。
本書および製品添付の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告　**この表示を無視して､誤った取り扱いをすると､人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

⚠注意　**この表示を無視して､誤った取り扱いをすると､人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

また、お守りいただく内容の種類を次の絵記号で区分し、説明しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

(禁止記号)	**この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。**
(分解禁止記号)	**この記号は、分解禁止を示しています。**
(濡れ手禁止記号)	**この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。**
(水濡れ禁止記号)	**この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。**
(電源プラグ記号)	**この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。**

● 安全上のご注意

⚠警告

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

取扱説明書で指示されている以外の分解や改造はしないでください。
けがや感電・火災の原因となります。
安全装置が損傷し、プリントヘッド部分の異常過熱・感電などの事故の危険があります。

表示されている電源（AC100V）以外は使用しないでください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードの上に重い物を載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

電源コードが破損したら、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

⚠警告

電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱し火災の原因となります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から電源を直接取ってください。

電源プラグの取り扱いには注意してください。
取り扱いを誤ると火災の原因となります。

電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない

- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む

通風孔など開口部から、内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

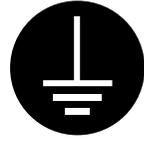
異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

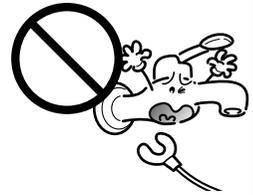
添付されている電源コード以外の電源コードを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

⚠警告

アース線を接続しない状態で使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、3芯プラグを接続できない場合は、アース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めた物
- 接地工事(第3種)を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合やアースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

次のような場所には、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる可能性があるため危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）

⚠注意

本製品は重い（本体重量約43.5kg）ので、開梱や移動の際は1人で運ばないでください。
必ず2人以上で運んでください。

小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

⚠注意

他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。
落下によって、そばにいる人がけがをするおそれがあります。

湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。

本製品の上に乗ったり、重い物を置かないでください。
特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがをするおそれがあります。

本製品の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。
次のような場所には設置しないでください。
- 押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所
- じゅうたんや布団の上
- 毛布やテーブルクロスのような布をかけない

また、壁際に設置する場合は、壁から15cm以上のすき間をあけてください。

連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品を移動する場合は、安全のために電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。

電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長時間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。

⚠注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷付いて、感電・火災の原因となることがあります。	
各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている通りの配線をしてください。 配線を誤ると、火災のおそれがあります。	
インターフェイスカードやオプション製品を接続するときは、必ず本機の電源スイッチをオフにしてください。 感電の原因となることがあります。	
カッターを交換するときは、カッターの取り扱いに注意してください。 カッターの刃でけがをするおそれがあります。 **カッターは子供の手の届かないところに保管してください。**	
インクカートリッジを交換するときは、インクが目に入ったり皮膚に付着しないように注意してください。 目に入ったり皮膚に付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。	
インクカートリッジを分解しないでください。 分解したカートリッジは使用できません。また分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。	
一度取り付けたインクカートリッジは強く振らないでください。 強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。	
インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。また、インクは飲まないでください。	

本書の構成

詳しいもくじは次ページにあります

Windowsでお使いの方のみお読みください。 Win

Macintoshでお使いの方のみお読みください。 Mac

もくじ

1.本機の紹介

2.プリンタ本体の準備

3.プリンタソフトウェアの セットアップ

4.用紙について

5.消耗品の交換

6.プリンタのメンテナンス

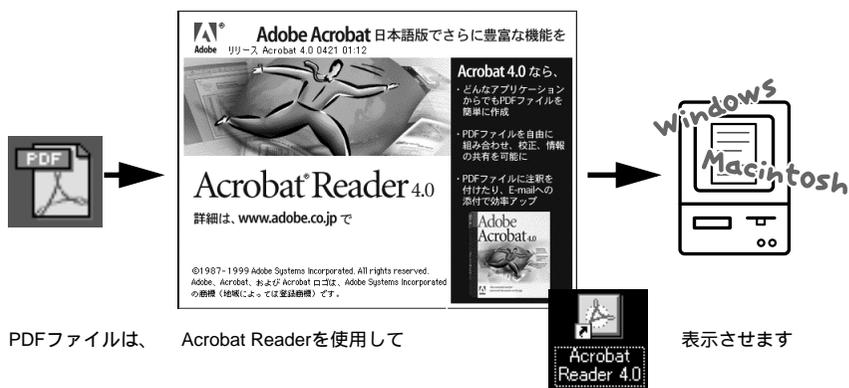
付録

ユーザーズガイド（PDFマニュアル）の見方

ユーザーズガイドは、本機の詳細な情報について記載されたマニュアルです。ユーザーズガイドは電子マニュアルとしてPDF（Portable Document Format）ファイルの形式で「MC-7000 プリンタソフトウェアCD-ROM」に収録されています。

● PDFマニュアルを見るためには

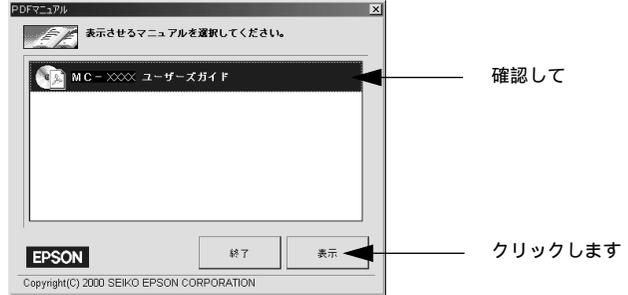
「MC-7000 プリンタソフトウェアCD-ROM」に収録されている「ユーザーズガイド」はPDFファイルの形式で作成されています。このPDFファイルを開くためには、「Adobe Acrobat Reader」というソフトウェアが必要です。ご利用のコンピュータにAcrobat Readerがインストールされていない場合は、画面の指示にしたがってインストールを行ってください。「MC-7000 プリンタソフトウェアCD-ROM」にはAcrobat Readerも収録されています。

PDFファイルは、　Acrobat Readerを使用して　表示させます

● WindowsでのPDFマニュアルの見方

1. **Windowsを起動して、「MC-7000プリンタソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。**

2. **次の画面が表示されたら［PDF マニュアルを見る］をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。**
   この画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］の CD-ROM アイコン内の［Epsetup］アイコンをダブルクリックします。

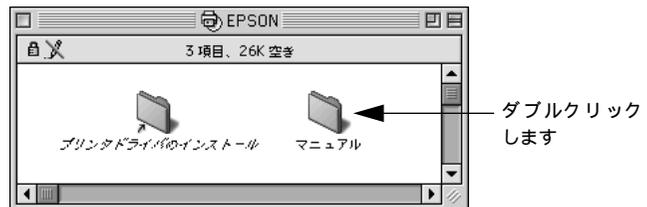
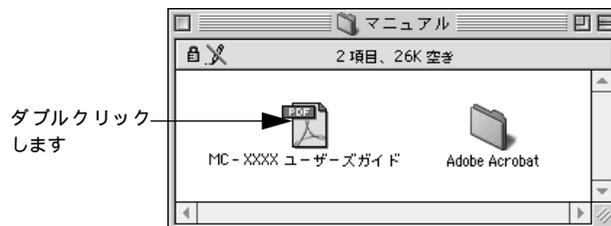
3 ［MC-7000ユーザーズガイド］が選択されていることを確認して［表示］ボタンをクリックします。

Acrobat Readerが起動してMC-7000ユーザーズガイドが表示されます。

ポイント

ご利用のコンピュータにACrobat Readerがインストールされていない場合は、Acrobat Readerのインストーラが起動します。インストーラの画面の表示に従ってインストールを実行してください。

● MacintoshでのPDFマニュアルの見方

1 Macintoshを起動して、「MC-7000プリンタソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。

2 ［マニュアル］フォルダをダブルクリックします。

3 ［MC-7000ユーザーズガイド］ファイルをダブルクリックします。

Acrobat Readerがインストールされていない場合は、最初に[Acrobat Reader] フォルダをダブルクリックして開き、[Installer] アイコンをダブルクリックしてインストールを実行してください。インストールは画面の表示に従ってください。

4 **Acrobat Readerが起動し、MC-7000ユーザーズガイドが表示されます。**

ユーザーズガイドについて（CD-ROM収録）

本書中のマーク、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は、必ずお読みください。なお、それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたい(操作)を示しています。

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

用語[*1]

用語の説明を、欄外に記載していることを示しています。

関連した内容の参照ページを示しています。

Windowsの表記について

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version4.0日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows 2000と表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows 2000を総称する場合は「Windows」、複数のWindowsを併記する場合は、「Windows95/98/NT4.0」のようにWindowsの表記を省略することがあります。

掲載している画面について

お使いの機種により表示される画面が異なる場合があります。

1

本機の紹介

ここでは、本機の特長や各部の名称について説明をしています。

本機の特長

本機はA1プラス（ノビ）幅サイズの用紙に対応した大判フォトマッハジェット・カラープリンタです。さらに磨きをかけたEPSONのフォトマッハ技術により肌の質感から微妙なグラデーションに至るまで、まさに「写真高画質」と呼べる美しい印刷が可能です。

本機の主な特長は次の通りです。

●色あせにくい高画質印刷を実現

新開発6色インクと専用紙の組み合わせにより優れた耐光性を実現しています。写真の印刷はもちろん店舗のディスプレイ・バナー・ポスターなど活用の場が広がります。

●A4からA1プラス（ノビ）サイズ幅の用紙に対応

A4からA1プラス（ノビ）サイズ幅の用紙に印刷可能です。デザイン画などの大判プリントが手軽に行えます。また手差し給紙によってA4サイズ以上の単票紙への印刷も可能です。

●さまざまな用紙の種類に対応

高画質印刷を実現するために、さまざまな専用紙を用意しています。屋内使用、屋外使用など用途に応じた用紙の選択が可能です。また、絵画のような質感を持った用紙を用意。新しいアートの世界を表現することもできます。
単票紙は1.5mm厚までの厚紙に対応しており、ボード紙への印刷も可能です。

●大容量インクの搭載

6色独立の大容量インクカートリッジを搭載しています。すべてのインクが独立型のため、使い切ったカートリッジだけを交換できます。

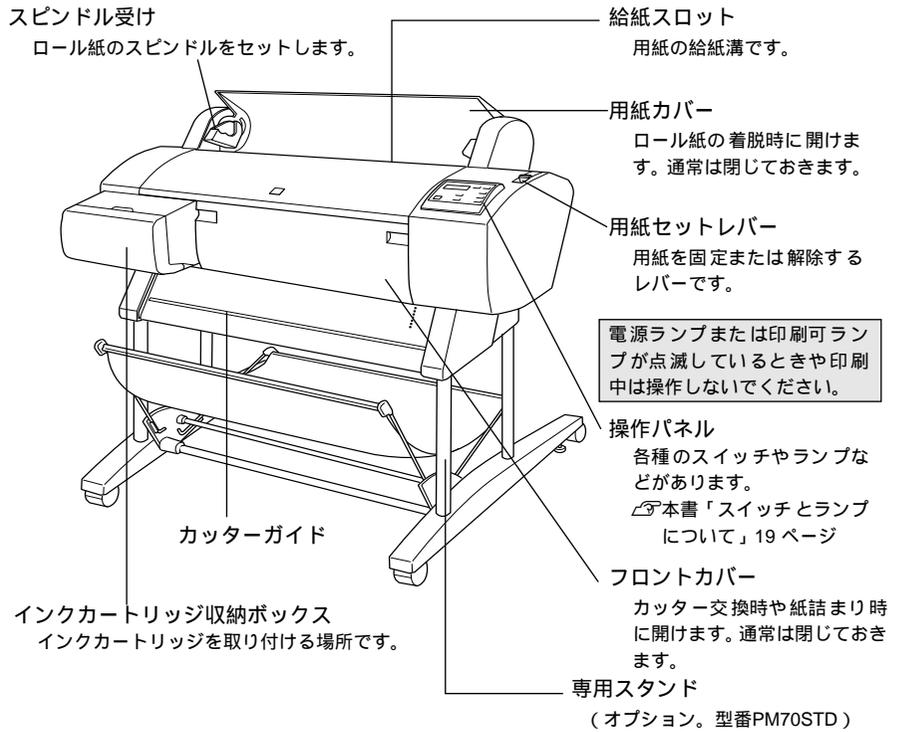
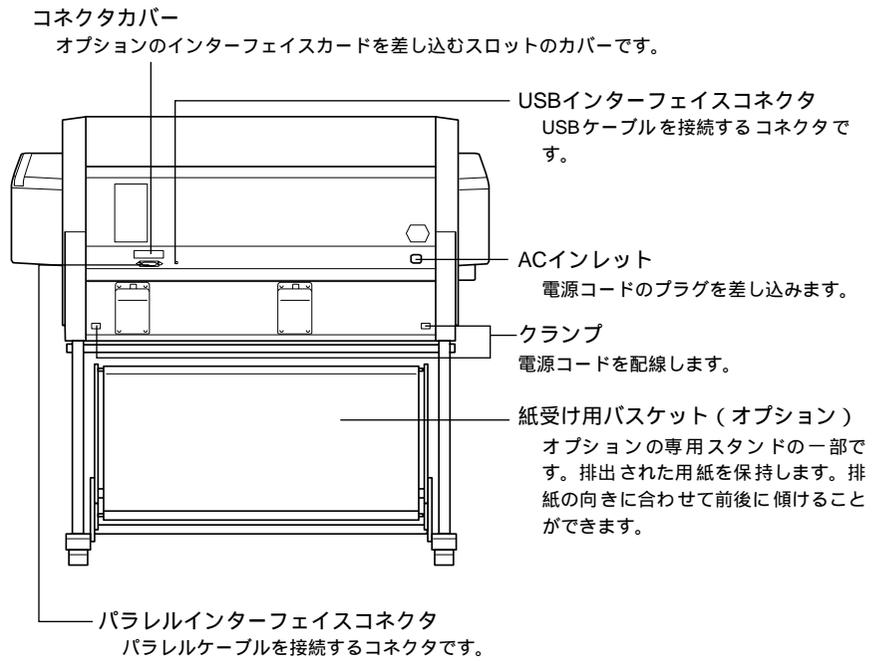
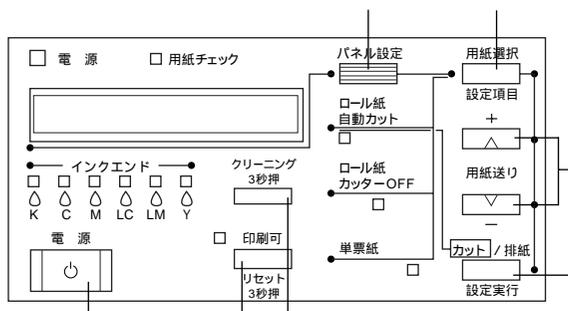
●PostScriptプリンタとして使用可能

ポストスクリプトサーバー（型番：PS-6300）、ソフトリッパー Pro（型番：MC70SR）の接続により、PostScriptプリンタとして使用できます。

各部の名称と働き

● 本体正面

● 本体背面

コネクタカバー
オプションのインターフェイスカードを差し込むスロットのカバーです。
USBインターフェイスコネクタ
USBケーブルを接続するコネクタです。
ACインレット
電源コードのプラグを差し込みます。
クランプ
電源コードを配線します。
紙受け用バスケット（オプション）
オプションの専用スタンドの一部です。排出された用紙を保持します。排紙の向きに合わせて前後に傾けることができます。
パラレルインターフェイスコネクタ
パラレルケーブルを接続するコネクタです。

スイッチとランプについて

●スイッチ

①[印刷可]スイッチ・[リセット]スイッチ

- 印刷可/不可状態を切り替えます。
- 3 秒押すと［リセット］スイッチとして機能します。この場合、印刷を中止し、現在稼働中のインターフェイスで受信した印刷データを消去(リセット）します。
- パネル設定モード中に押すと、パネル設定を終了し、印刷可能状態にします。

②[クリーニング]スイッチ

プリントヘッドのクリーニングを行います。印刷品質が悪くなったときなどに行います。

③[パネル設定]スイッチ

パネル設定モードに入ります。パネル設定モード中に押すと、メニュー項目の選択ができます。
また、5秒間押し続けると、カッター交換が行える状態になります。

④[用紙選択]スイッチ・[設定項目]スイッチ

- 用紙種類の選択と、ロール紙選択時の切り離しの有/無を設定します。
  ロール紙選択時の切り離しはプリンタドライバの設定が優先されます。
  ☞ Windows：ユーザーズガイド「用紙設定」27 ページ
  ☞ Macintosh：ユーザーズガイド「[用紙設定］ダイアログ」72 ページ

  ロール紙自動カット　　：1ページごとにカットして印刷します。
  ロール紙カッター OFF　：カットせずに連続で印刷します。
  単票紙　　　　　　　　：単票紙に印刷します。
- パネル設定モード中は［設定項目］スイッチとして機能します。この場合、メニュー項目内の設定項目の選択ができます。

ポイント

インクの乾燥時間中にこのスイッチで用紙の種類を変更した場合は、[設定実行］スイッチを押すまで設定内容が有効になりません。

⑤[用紙送り]スイッチ

- ロール紙を正方向（▼）または逆方向（▲）に送ります。
- パネル設定モード中は設定値を増加（＋）または減少（－）させます。

⑥[カット/排紙]スイッチ・[設定実行]スイッチ

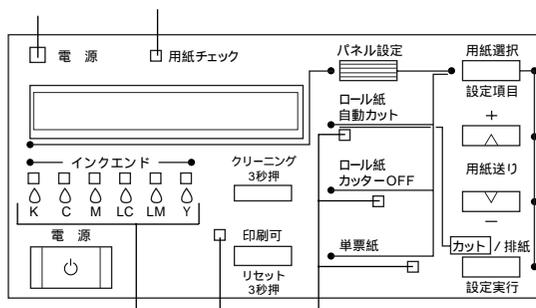
- 印刷したページを送り出します。

ロール紙自動カット	：ロール紙を用紙位置（✂マーク位置）で切り離します。
ロール紙カッターOFF	：用紙カット位置を用紙先端位置としてセットします。
単票紙	：セットされている用紙を排出します。

- パネル設定モード中は、設定した項目を有効にして設定内容を実行します。

⑦[電源]スイッチ

プリンタの電源をオン/オフします。

● ランプ

①電源ランプ

点灯　：プリンタ電源オン
点滅　：データの処理中/パワーオフシーケンス実行中など
消灯　：プリンタ電源オフ

②印刷可ランプ

点灯　：印刷可能状態
点滅　：インク乾燥時間中/ヘッドクリーニング中
消灯　：パネル設定モード中/ポーズ中/エラー発生時など

③インクエンドランプ(K:ブラック/C:シアン/M:マゼンタ/LC:ライトシアン/LM:ライトマゼンタ/Y:イエロー)

点灯　：インクエンド/カートリッジ未装着/カートリッジ違いなど
点滅　：インク残量少
消灯　：インク関連の問題が発生していない状態

④用紙チェックランプ

点灯　：用紙なしエラー/用紙セットレバー解除中/用紙設定違いなど
点滅　：用紙詰まりエラー/用紙斜行エラーなど
消灯　：インク関連の問題が発生していない状態

⑤用紙選択ランプ

点灯　：選択された用紙
点滅　：エラー発生時
消灯　：選択されていない状態

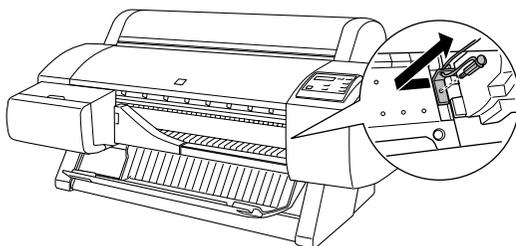
2

プリンタ本体の準備

ここでは、輸送のために付けられている保護材を取り外し、同梱品を取り付け本機を使用可能な状態にするまでの手順を説明します。

保護材の取り外し

本製品には下図の個所に保護材が取り付けられています。以下の手順に従ってすべての保護材を取り外してください。

1. フロントカバーに貼られているテープを外します。
2. フロントカバーを開け、プリントヘッドユニット固定用保護材（金属板）とネジを外します。

オプションの取り付け

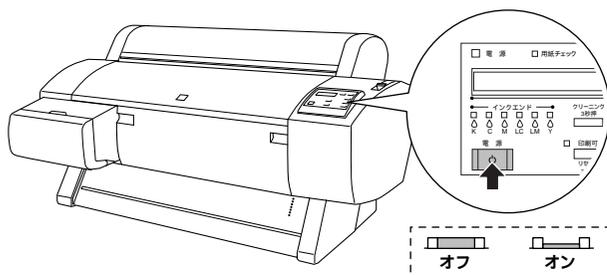
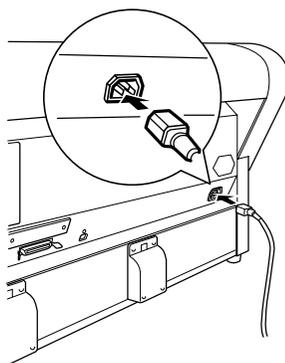
オプションを同時に購入されている場合は、オプションの取扱説明書とともに以下の参照先をご覧いただき、作業を行ってください。

- インターフェイスカード
  ☞ ユーザーズガイド「インターフェイスカードの取り付け」207 ページ
- 専用スタンド
  ☞ 開梱と据置作業を行われる方へ「専用スタンド（オプション）の取り付け」5ページ

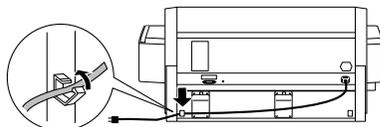
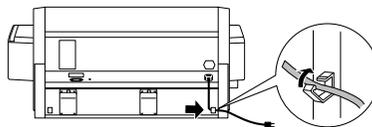
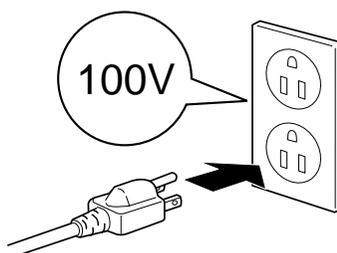
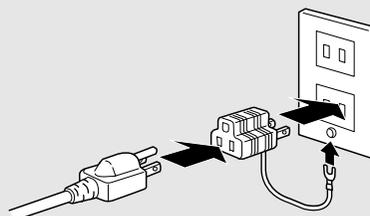
電源コードの接続

⚠警告
以下のページをお読みいただき、正しい取り扱いをしてください **☞本書「安全にお使いいただくために」1 ページ**

1 プリンタ本体の電源がオフになっていることを確認します。

［電源］スイッチが奥に押し込まれているときはオンになっていますので、一度スイッチを押してオフにしてください。

2 プリンタ背面のACインレットに電源コードを接続します。

3 電源コードをプリンタ背面のクランプに取り付けます。

据置場所によりプリンタ背面の左または右にコードを配線してください。

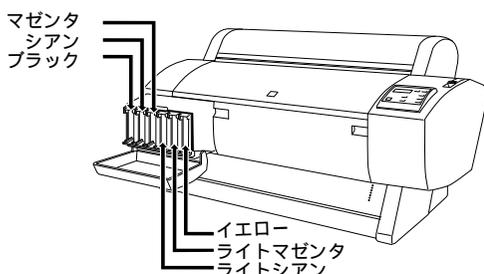
■背面左に取り付ける場合

■背面右に取り付ける場合

電源コードのプラグをコンセントに正しく差し込みます。

コンセントに３芯のプラグを差し込めない場合は、同梱の３芯２芯変換コネクタを使用してください。

3芯2芯変換コネクタのアースを、次のいずれかの場所に必ず接続してください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めた物
- 接地工事（第3種）を行っている接地端子

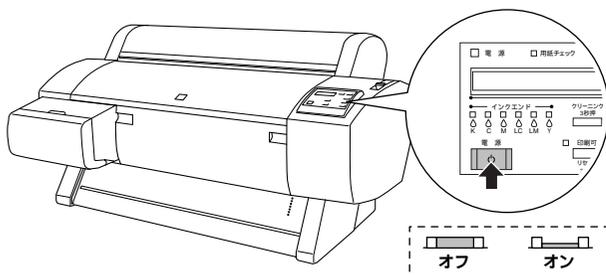
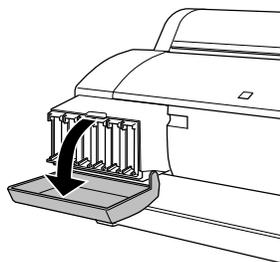
ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

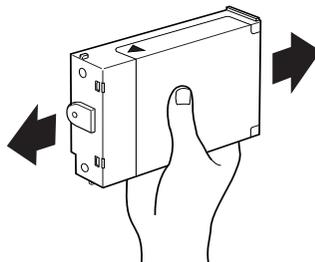
インクカートリッジの取り付け

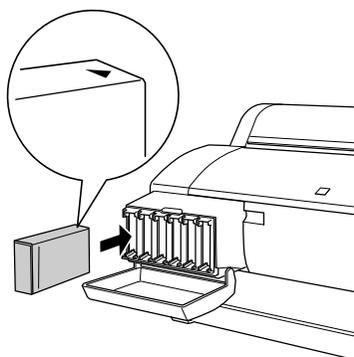
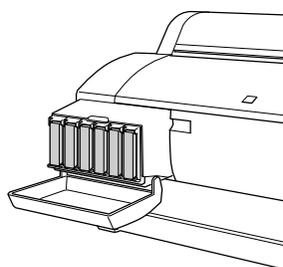
6個のインクカートリッジを所定の場所に取り付けます。

インクカートリッジはどの色から取り付けてもかまいませんが、色によって装着するスロットが決まっています。スロット手前のマークの色とインクの色、記載されている型番（MC1＊03）とインクカートリッジの型番を合わせて取り付けてください（＊はインクの色で異なります）。
ここでは左側から順に、ブラック→シアン→マゼンタ→ライトシアン→ライトマゼンタ→イエローと取り付けます。

1 プリンタの電源をオンにします。

プリンタは初期動作[*1] を行います。
インクエンドランプが点灯し、パネルに「カートリッジガアリマセン」と表示されます。

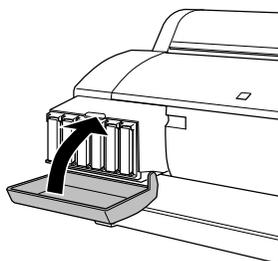
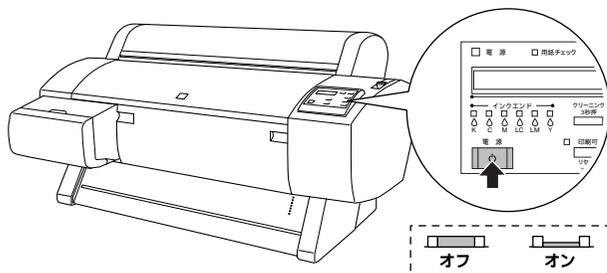
*1　初期動作：
電源スイッチをオンにしたときに行われる、プリンタのウォーミングアップです。プリントヘッドが左右に少し動き、エラー状態などを検査します。

2 インクカートリッジ収納ボックスのカバーを開けます。

インクカートリッジは誤挿入防止構造になっています。スロットにスムーズに挿入できない場合は、誤挿入の可能性があります。無理やり押し込んだりしないでください。

3 インクカートリッジを袋から取り出し、良好な印刷品質を得るために2、3回軽く振ります。

4 ブラックのカートリッジスロットにブラックのインクカートリッジを取り付けます。

インクカートリッジの▲マークを上にして、プリンタ側に向けて挿入します。インクカートリッジはスロットの奥までしっかり挿入し、ブラックのインクエンドランプが消灯したことを確認してください。

5 ❹と同様に、シアン→マゼンタ→ライトシアン→ライトマゼンタ→イエローのカートリッジスロットにそれぞれのインクカートリッジを取り付けます。

6 個のインクカートリッジをすべて取り付け、6 つのインクエンドランプが消灯すると自動的にインクの初期充てんが始まります。初期充てん中は印刷可ランプが点滅し、操作パネルに「インクジュウテン xxx%」と初期充てんの進行状況が表示されます。

初期充てんには約 5 分かかり、充てん動作と休止動作を繰り返します。印刷可ランプの点滅が止まれば初期充てんは終了です。

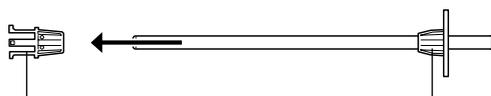
インク充てん中は以下のことを必ず守ってください。
- **電源をオフにしない**
- **電源コードを抜かない**
- **フロントカバーを開けない**
- **用紙セットレバーを後ろに倒さない**

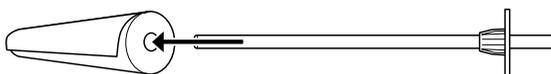
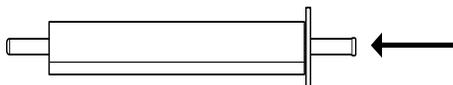
6 インクカートリッジ収納ボックスのカバーを閉じます。
カバーが固定されるまでしっかり閉じてください。

7 初期充てんが終了し、印刷可ランプの点滅が止まっていることを確認したら、電源をオフにします。

ロール紙の取り付け

プリンタを設置後、プリンタの動作確認と調整を行います。同梱のMC厚手マット紙ロールをスピンドルにセットします。

動作確認はプリントヘッドのノズルが目詰まりしていないか（ノズルパターン印刷）、双方向印刷時にプリントヘッドのズレが生じないか（ギャップ調整）を確認して調整を行います。

1 スピンドルにセットされている可動用紙ストッパを取り外します。

可動用紙ストッパをスライドさせて外します。

2 スピンドルにロール紙をセットします。

①固定用紙ストッパ方向から見て左巻きになるように、スピンドルをロール紙に差し込みます。

②固定用紙ストッパの右端にロール紙の芯が突き当たるまで押し込みます。

3 可動用紙ストッパを取り付けます。

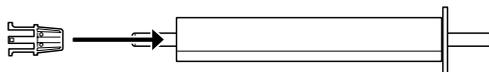
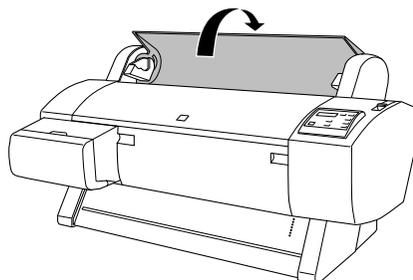
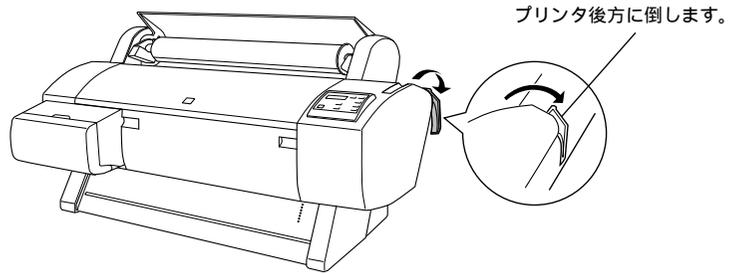
ロール紙の芯にしっかり固定されるまで押し込みます。

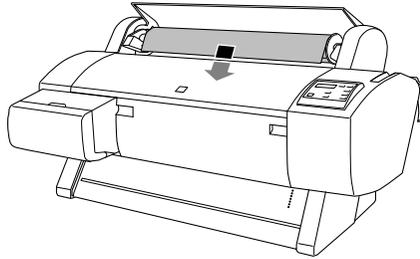
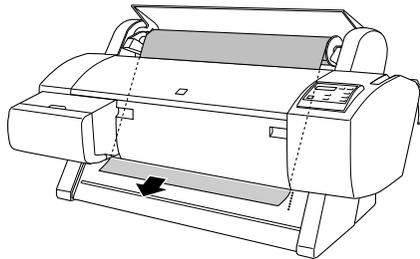
4 用紙カバーを開けます。

5 **固定用紙ストッパ側を右側にして持ち、スピンドル受けの手前のくぼみまで一旦持ち上げます。**

6 **スピンドルの両端をプリンタのスピンドル受けの奥のくぼみにセットします。**

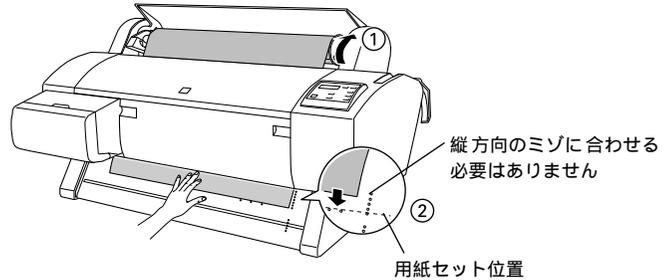
左右のスピンドル受けの色とスピンドル端部の色を合わせてセットしてください。セット方向を間違えると正常な給紙ができません。

7 **プリンタの電源をオンにします。**

電源ランプが点灯します。

8 用紙セットレバーを後ろに倒します。

電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを操作しないでください。

9 ロール紙を給紙スロットにセットします。

10 フロントカバーの下方からロール紙を引き出します。

ロール紙の先端がフロントカバーの下方から出てこない場合は、フロントカバーを開けて用紙を下向きに送り出してください。フロントカバーを開けるときは、両端のつまみを持ち、手前に引いて開いてください。

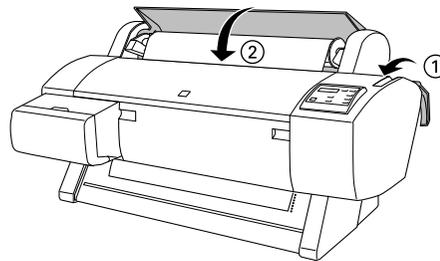
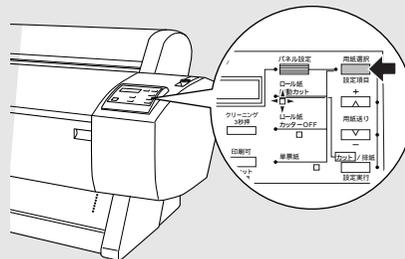
11 ロール紙の先端を用紙セット位置に合わせます。

用紙先端を押さえながら、スピンドルを持ってロール紙を少し巻き戻し、用紙のたわみを取り除きます（①)。用紙の中央を持ち用紙全体にたわみが生じないようにセットします（②)。

注意

ロール紙の先端が用紙セット位置より長すぎたり短すぎると用紙を巻き上げきれずにエラーとなります。ロール紙先端の用紙セット位置から2cm以内の引き出し量で用紙をセットしてください。カッターガイドには合わせないでください。

12 用紙セットレバーを手前に戻してから、用紙カバーを閉じます。

パネルに「[インサツカ] スイッチヲオシテクダサイ」と表示されます。

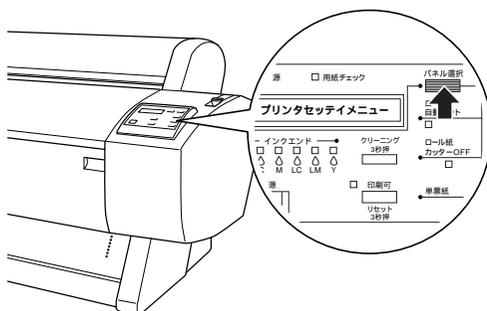
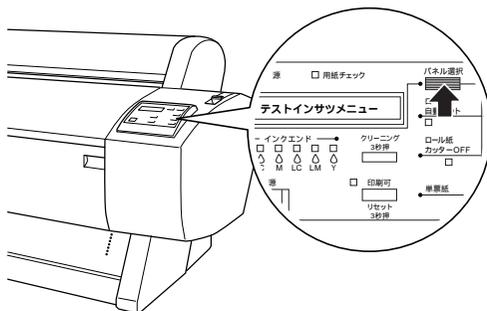
ポイント

- **ロール紙の先端に汚れや折れなどがある場合は、[カット / 排紙] スイッチを押して、先端部をきれいに切り揃えてください。**
- **[用紙選択] スイッチで [ロール紙自動カット] を選択すると、1ページごとにカットして印刷します。**

[印刷可] スイッチを押すか、そのまましばらく放置すると、自動的にプリントヘッドが動いて、用紙幅と用紙先端のチェックを行い、印刷開始位置まで用紙を巻き上げて待機し、パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

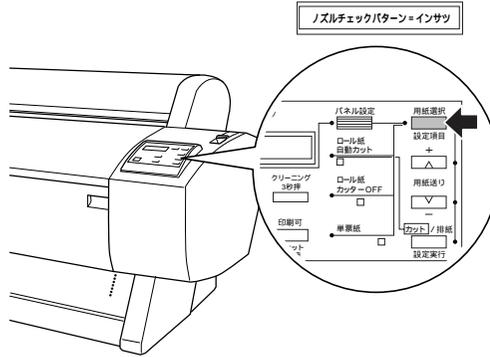
プリントヘッドの調整と動作確認

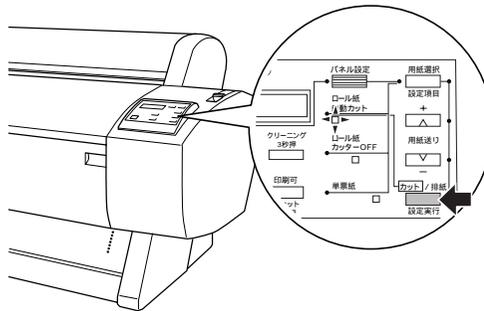
プリンタが正常に動作するかを確認します。ここでは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしていないか（ノズルチェック）、双方向印刷時にプリントヘッドのズレが生じていないか（ギャップ調整）を確認します。

ギャップ調整は工場出荷時に行われています。ここでは良好な印刷結果を得るために確認と、必要に応じて調整を行います。

● ノズルチェックパターン印刷

1. **［パネル設定］スイッチを押して、パネル設定モードに入ります。**
パネルに「プリンタセッテイメニュー」と表示されます。

2. **［パネル設定］スイッチをもう１回押します。**
パネルに「テストインサツメニュー」と表示されます。

3 ［設定項目］スイッチを押します。

パネルに「ノズルチェックパターン＝インサツ」と表示されます。

4 ［設定実行］スイッチを押します。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

5 印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

＜良い例＞の印刷が行われた場合は、続いて「ギャップ調整」を行います。＜悪い例＞のようにノズルチェックパターンが欠けている場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

1. **ヘッドクリーニングは［クリーニング］スイッチを 3 秒間押すと実行されます。**

2. **ヘッドクリーニングを実行したら、再度ノズルチェックパターンの印刷を実行してください。**

3. **ヘッドクリーニング後もノズルチェックパターンが欠けている場合は再度クリーニングを実行してください。**
   数回クリーニングを行っても改善されない場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

● ギャップ調整

1. **プリンタにMC厚手マット紙ロールがセットされていることを確認します。**

2. **［用紙選択］スイッチを押して［ロール紙自動カット］を選択します。**

3. **［パネル設定］スイッチを「ギャップチョウセイメニュー」と表示されるまで押します。**

4. **すべての調整パターンを印刷します。**
印刷されたシートは数枚にカットされます。

ポイント

ギャップ調整のすべての調整パターンを印刷すると、約4分かかります。ロール紙を約50cm使用します。

①［設定項目］スイッチを押すと「ヨウシアツ＝ヒョウジュン」と表示されます。［設定実行］スイッチを押します。

②「チョウセイ＝ゼンブ」と表示されていることを確認して［設定実行］スイッチを押します。
「チョウセイパターン インサツチュウ」と表示されてすべての調整パターンが印刷されます。

＜印刷例＞
このようなパターンが用紙幅いっぱいに3個印刷されます。調整は用紙の中央にある2番目のパターンを使って行います。

印刷が終了するとパネルに「♯1セッテイ＝8　＊」と表示されます。

- 印刷例のようにすべての調整パターンのパターン番号8がもっともズレの少ない線、中央の線がめだたない長方形になっている場合はギャップ調整を行う必要がありません。［印刷可］スイッチを押してパネル設定モードを終了し、❽に進んでください。

- 調整パターンごとに、もっともズレの少ない線または中央の線がめだたない長方形が8以外になっている場合は、❺に進んでください。

❺ 印刷されたシートを見て、調整パターンごとにもっともズレの少ないパターン番号を探します。

❻ ［設定項目］スイッチを押すたびに、調整パターン名が以下の順に変わります。調整パターンごと❺で探したもっともズレの少ないパターン番号（1～15）を登録します。

調整パターン（設定項目）	パターン番号（設定値）
＃1セッテイ	1～15（8が初期値）
＃2セッテイ	1～15（8が初期値）
＃3セッテイ	1～15（8が初期値）
＃4セッテイ	1～15（8が初期値）
＃5セッテイ	1～15（8が初期値）
＃6セッテイ	1～15（8が初期値）

パターン番号を変更する場合は、以下の手順に従ってください。

①［設定項目］スイッチを押して設定値を変更する調整パターン名を選択します。

②［＋］または［－］スイッチでパターン番号（1～15）を選択します。
［＋］を押すと、設定値の数値が増加します。
［－］を押すと、設定値の数値が減少します。

③［設定実行］スイッチを押すと、設定値の後に＊（アスタリスク）マークが付き、選択した値を登録し、次の調整パターン名を表示します。

④①～③の作業を繰り返して、変更が必要なすべてのパターンについて設定をします。

❼ 設定が終了したら、再度調整パターンの印刷を行い（❶～❹参照）、調整が正しくされたことを確認します。

再印刷した結果、各調整パターンのパターン番号 8 がもっともズレの少ない線、中央の線がめだたない長方形になっていれば調整が正しく行われています。

- **調整が正しく行われていない場合は、再度❻～❼の手順を繰り返してください。**
- **すべての調整パターンを印刷する必要がない場合は、以下の手順で任意のパターンのみを印刷させることができます。**
  ①［パネル設定］スイッチを「ギャップチョウセイメニュー」と表示されるまで押します。
  ②［設定項目］スイッチを押して「ヨウシアツ＝ヒョウジュン」と表示されたら、［設定実行］スイッチを押します。「チョウセイ＝ゼンブ」と表示されます。
  ③［＋］または［－］スイッチで印刷したい調整パターン名を選択して［設定実行］スイッチを押します。パネルに「チョウセイパターンインサツチュウ」と表示されて任意のパターンを印刷します。
  ④パターン番号8がもっともズレの少ない線、中央の線がめだたない長方形になっているかを確認します。8以外になっている場合は再調整します。

8 **［印刷可］スイッチを押して、パネル設定モードを終了します。**
パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

9 **電源をオフにします。**
以上でセットアップ作業は終了です。
続いてコンピュータとの接続、プリンタドライバのインストールを行います。

以上の操作が完了した時点で、[用紙選択]スイッチの設定は[ロール紙自動カット]になっています。
コンピュータの接続とプリンタドライバのインストールを行った後、実際に印刷を行う際は、印刷する用紙に合わせて[用紙選択]スイッチを設定し直してください。

コンピュータとの接続

本製品は、パラレルケーブルまたはUSBケーブルでコンピュータに直接接続することができます。また、オプションのIEEE1394カードをプリンタに装着してコンピュータと直接接続したり、オプションのEthernet I/Fカードを装置してネットワークに接続することもできます。

● USBケーブルの接続

USBインターフェイスで接続する場合は次のケーブル（別売）が必要です。

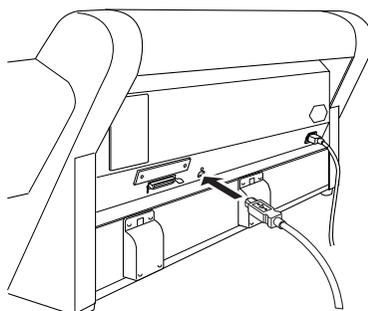
- EPSON USBケーブル（型番：USBCB1）

本機をUSBケーブルで接続するためのシステム条件

Windows	以下の3つの条件を満たしている必要があります。 • Windows98/2000がプレインストールされているコンピュータ （購入時、すでにWindows98/2000がインストールされているコンピュータ） Windows98がプレインストールされていて、Windows 2000にアップグレードされているコンピュータ • USBに対応したコンピュータ • コンピュータメーカーによりUSBポートの動作が保証されているコンピュータ
Macintosh	アップル社によりUSBポートの動作が保証されているコンピュータとOSの組み合わせによるシステム

ポイント

- Windows95/NT4.0ではご使用になれません。
- コンピュータの USB ポートに関しては、コンピュータメーカーにお問い合わせください。
- USBケーブルに接続する場合、プリンタの操作パネルで[プリンタセッティメニュー]の[パラレルインターフェイス]を[ゴカン]に設定してください（初期設定値は[ゴカン]です）。[パラレルインターフェイス]が[ECP]に設定されていると、USBインターフェイスが正常に動作しません。

1. **プリンタの電源をオフにします。**
2. **プリンタ背面のコネクタにUSBケーブルを接続します。**

3. **USBケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータに接続します。**
コンピュータへの接続については、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

● パラレルケーブルの接続

パラレルインターフェイスで接続する場合は、次のパラレルケーブル（別売）が必要です。パラレルケーブルには種類がありますので、接続するコンピュータに応じた適切なケーブルをご用意ください。

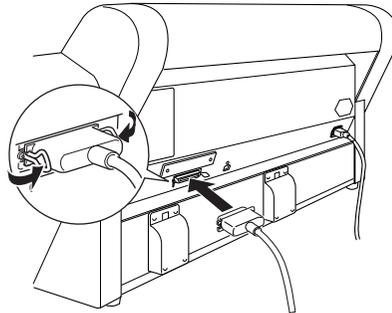
	メーカー	機種	接続ケーブル	備考
DOS/V系	EPSON IBM、富士通、 東芝、他各社	DOS/V仕様機	PRCB4N	
	NEC	PC98-NXシリーズ		
98系	EPSON	EPSON PCシリーズ デスクトップ	＃8238	*1　*2
		EPSON PCシリーズ NOTE	市販品(ハーフピッチ20ピン) をご使用ください	*1
	NEC	PC-9821シリーズ (ハーフピッチ36ピン)	PRCB5N	
		PC-H98シリーズ (ハーフピッチ36ピン)		*1

*1 Windowsの双方向通信機能およびEPSONプリンタウィンドウ!3は、コンピュータの機能制限により対応できません。
*2 ハーフピッチ36ピンのコンピュータにはPRCB5Nをご使用ください。

- **推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。**
- **ECPモード対応のDOS/V系コンピュータをECPモードで接続する（DMA転送をする）場合は、必ずPRCB4Nをご使用ください。**

1 プリンタとコンピュータ両方の電源をオフにします。

2 プリンタ背面のコネクタにパラレルケーブルを接続します。

- ケーブルのコネクタを左右の固定金具で固定します。
- FG線（グランド線）が付いているときは、FG線取り付けネジで固定します。

3 ケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータに接続します。

コンピュータへの接続については、コンピュータの取扱説明書を参照してください。

● オプションのインターフェイス接続

オプションのインターフェイスカードには、次のものがあります。

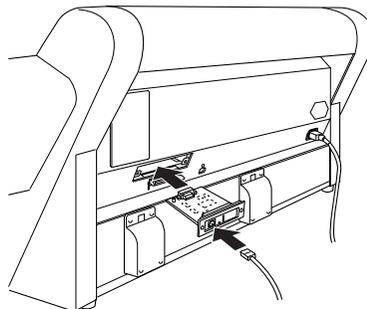
型番	仕様	解説
PRIFNW1S	10BASE-T/2対応マルチプロトコル Ethernet I/Fカード	本機をEthernetでネットワーク環境に接続するためのインターフェイスカードです。 IPX/SPX（NetWare,Windows95/98/NT4.0/2000）、TCP/IP（Windows95/98/NT4.0/2000）、NetBEUI（Windows95/98/NT4.0/2000、OS/2 Warp）、AppleTalk（Macintosh）に対応しています。 接続には、次のケーブルが別途必要です。 • PRIFNW1S Ethernet 10BASE2シン（THIN）同軸ケーブル Ethernet 10BASE-Tツイストペアケーブル • PRIFNW2S Ethernetシールドツイストペアケーブル（カテゴリー5）
PRIFNW2S	100BASE-TX 、10BASE-T マルチプロトコルEthernetI/Fカード	
PRIF14	IEEE1394 I/Fカード	本機をIEEE-1394規格（FireWire）のインターフェイスを装備したコンピュータに接続するためのインターフェイスカードです。

インターフェイスカードの取り付け方は以下のページを、そのほかの設定などについてはインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。
☞ ユーザーズガイド「インターフェイスカードの取り付け」207 ページ

ポイント

本機をネットワークのピアトゥピア接続で共有する場合のプリントサーバー側、クライアント側それぞれの設定については、下記を参照してください。
☞Windows：ユーザーズガイド「Windowsでのプリンタの共有」55 ページ
☞Macintosh：ユーザーズガイド「Macintoshでのプリンタの共有」104 ページ

本機に装着したインターフェイスカードとコンピュータやネットワーク側とをケーブルで接続します。

3

プリンタソフトウェアのセットアップ

ここでは、WindowsやMacintoshで本機を使用するために必要なセットアップの方法について説明をしています。

Windowsでのセットアップ

● システム条件の確認

本機を使用するために最小限必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。システム条件については、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

Windows95	オペレーティングシステム：Windows95日本語版 CPU：i486SX®以上 主記憶メモリ：8MB以上 ハードディスク空き容量：50MB以上 ディスプレイ：VGA(640×480)以上の解像度
Windows98	オペレーティングシステム：Windows98日本語版 CPU：i486DX®66MHz以上 主記憶メモリ：16MB以上 ハードディスク空き容量：50MB以上 ディスプレイ：VGA(640×480)以上の解像度
WindowsNT4.0	オペレーティングシステム：WindowsNT4.0日本語版 CPU：i486(25MHz)以上×86系またはPentium® 主記憶メモリ：16MB以上 ハードディスクの空き容量：50MB以上 ディスプレイ：VGA(640×480)以上の解像度
Windows 2000	オペレーティングシステム：Windows 2000日本語版 CPU：Pentium® 133MHz以上 主記憶メモリ：32MB以上 ハードディスクの空き容量：50MB以上 ディスプレイ：VGA(640×480)以上の解像度

より美しい画像を印刷するには、プリンタの性能に見合った適度な解像度の画像データを用意する必要があります。さらに出力サイズが大きくなればなるほど、お使いになるシステム環境が高性能であることも要求されます。
本機の性能を十分に発揮させるためには、以下のシステム条件を満たすことが必須です（A1サイズ出力の場合）。

CPU	Pentium II 300MHz以上
メモリ	128MB以上搭載（使用可能リソース30%以上）
ハードディスク	400MB以上の空き容量

● プリンタドライバのインストール

コンピュータとの接続が終了したら、プリンタドライバとEPSONプリンタウィンドウ!3をコンピュータにインストールします。

ポイント

- ソフトウェアのインストールは必ず本書の手順に従ってください。それ以外の方法では正しくインストールできません。
- WindowsNT4.0/2000でプリンタドライバをインストールする場合は、システムの管理者権限を持った方が実行してください。
- USBケーブルで接続する場合、プリンタの操作パネルで[プリンタセッテイメニュー]の[パラレルインターフェイス]を[ゴカン]に設定してください(初期設定値は[ゴカン]です)。[パラレルインターフェイス]が[ECP]に設定されていると、USBインターフェイスが正常に動作しません。

1 プリンタの電源をオフにします。

2 コンピュータの電源をオンにしてWindowsを起動します。

3 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。

4 以下の画面が自動的に表示されたら、［ドライバ・ユーティリティのインストール］をダブルクリックします。

ポイント

- この画面が表示されるまでに、少し時間がかかります。
- この画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］をダブルクリックして、CD-ROMのアイコンをダブルクリックします。続けて［Epsetup］をダブルクリックします。

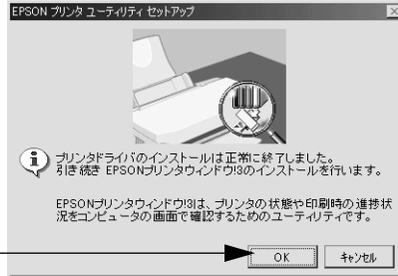
5 ［OK］ボタンをクリックします。

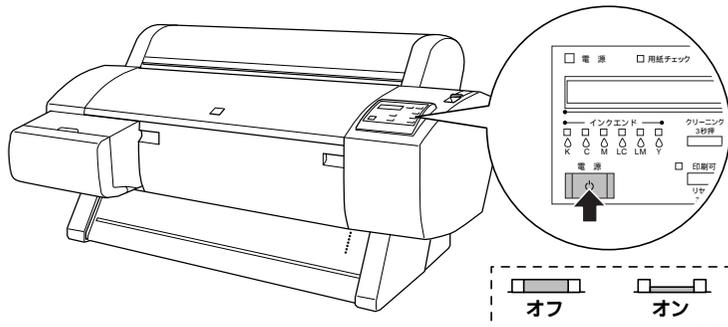
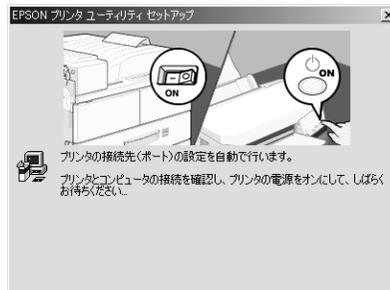
プリンタドライバのインストールが始まります。6 の画面が表示されるまでに、少し時間がかかります。しばらくお待ちください。

ポイント

- プリンタドライバのインストールに続いて、コンピュータ上からインク残量などプリンタの状態を監視できるユーティリティ「EPSONプリンタウィンドウ!3」をインストールします。
- EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしなくても印刷できますが、インストールしておくと印刷実行時にインク残量などのプリンタの状態がわかるため便利です。
 ユーザーズガイド「EPSONプリンタウィンドウ!3」34 ページ

6 インストール終了画面で［OK］ボタンをクリックします。

EPSON プリンタウィンドウ!3 のインストールが始まります。Windows95/NT4.0 を使用している場合は 8 へ進みます。

7 以下の画面が表示されたら、プリンタの電源をオンにします（Windows98/2000のみの手順です）。

プリンタの接続先が設定されます。インストールは自動的に進みますので、8 の画面が表示されるまでお待ちください。

ポイント

- **Windows 2000使用時にパラレルケーブルで接続している場合は、自動的に8の画面は表示されません。7の画面にしばらくすると[検索中止]ボタンが表示されます。[検索中止]ボタンをクリックしてください。**
- **7の画面で、[キャンセル]ボタンをクリックしてから、プリンタの電源をオンにしても、コンピュータ上にコピーされているプログラムによってドライバのインストールは完了します。ただし、USB接続をご利用の場合は、印刷先のポートを[LPT1:]から[EPUSBx:]に変更してください。**
  ユーザーズガイド「プリンタ接続先の設定」52 ページ

8 **［OK］ボタンをクリックし、コンピュータを再起動します。**
これで本機が使用できるようになります。

ポイント
以下の画面が表示されたらプリンタドライバまたはEPSON USBプリンタデバイスドライバが正常にインストールできません。
以下のページを参照し、各チェック項目に従って対処してください。
☞ユーザーズガイド「USBケーブル接続時のトラブル」194 ページ

● 印刷の設定と実行

プリンタドライバのインストールが終了すると、印刷できるようになります。ここでは、基本的な印刷の方法について説明します。

ポイント
プリンタドライバの設定画面の開きかたは、各アプリケーションソフトによって異なります。詳細は、各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

1 **印刷データを作成します。**
アプリケーションソフトなどで印刷するデータを作成します。

2 **プリンタの準備をします。**
- プリンタの電源をオンにします。
- 印刷する用紙をセットします。

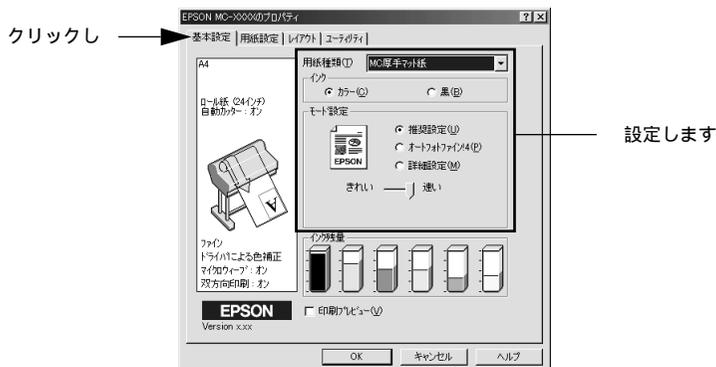
☞ 本書「用紙について」59 ページ

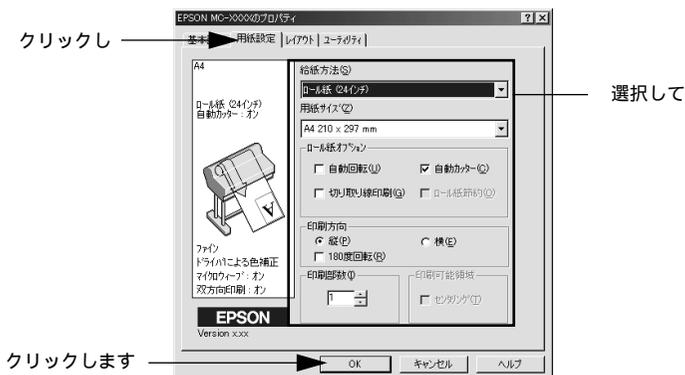
3 **印刷を実行します。**
アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］（または［プリント］）を指定します。

4 **MC-7000が選択されていることを確認し、[プロパティ] ボタンをクリックします。**

プリンタドライバの設定画面が表示されます。

5 **[基本設定] ダイアログの各項目を設定します。**

- セットした用紙に合わせて、[用紙種類] を選択します。
- 通常は、[基本設定] ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。
  ☞ ユーザーズガイド「基本設定」17 ページ
- モード設定のプリセットメニューを利用して印刷品質を向上させることもできますが、独自に詳細な設定を登録して利用することもできます。
  ☞ ユーザーズガイド「高度な印刷設定について」21 ページ

6 **[用紙設定] タブをクリックし、各項目を設定して、[OK] ボタンをクリックします。**

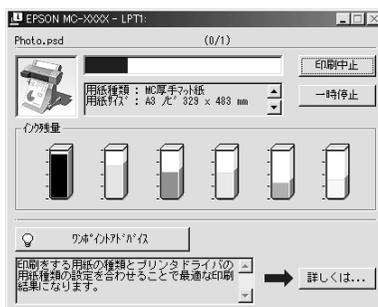
- セットした用紙に合わせて、[給紙方法] と [用紙サイズ] を選択します。
- 通常は、印刷する前に [用紙設定] ダイアログの各項目を設定しておくことをお勧めします。詳しくは、以下のページを参照してください。
  ☞ ユーザーズガイド「用紙設定」27 ページ

ポイント

- ［レイアウト］タブをクリックすると、拡大 / 縮小印刷を設定できます。必要に応じて設定してください。
  ☞ ユーザーズガイド「レイアウト」31 ページ
- ［ユーティリティ］タブをクリックすると、本機で使用できるユーティリティソフトを実行できます。必要に応じてご使用ください。
  ☞ ユーザーズガイド「ユーティリティ」32 ページ

7 アプリケーションソフトの［印刷］ダイアログなどで［ＯＫ］ボタンをクリックして印刷を実行します。

画面上にプログレスメータ[*1]が表示され（EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされている場合）、印刷が始まります。
Windows95/98 の場合は、スプールマネージャ[*2]も同時に起動します。
☞ ユーザーズガイド「印刷を実行すると」10 ページ

*1 プログレスメータ：印刷の進行状況やインク残量などを表示するダイアログボックス。

*2 スプールマネージャ：印刷データを一時的に蓄えるアプリケーションソフト。スプールマネージャが印刷処理を実行するため、印刷中でもコンピュータは別の作業をすることが可能となる。

電源ランプの点滅が点灯に変わり、プリンタの動作音がしなくなれば印刷は終了です。

ポイント

正常に印刷できなかった場合は、お問い合わせいただく前に以下のページを参照してください。
☞ユーザーズガイド「困ったときは」165 ページ

Macintoshでのセットアップ

● システム条件の確認

本機を使用するために最小限必要なハードウェアおよびシステム条件は次の通りです。システム条件については、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

動作可能コンピュータ	Mac OS 7.6.1以上のPower Macintosh （アップルコンピュータ株式会社より、接続するインターフェイスの動作が保証されている機種） • USB接続時は、Mac OS 8.1*以上 • Fire Wire接続時は、Mac OS 8.6以上
動作可能環境	メモリ：A4サイズの用紙へ印刷する場合 フォアグラウンドプリント時：7MB以上の空きメモリ容量(16MB以上を推奨) バックグラウンドプリント時：10MB以上の空きメモリ容量(27MB以上を推奨) A3サイズの用紙へ印刷する場合 フォアグラウンドプリント時：9MB以上の空きメモリ容量(23MB以上を推奨) バックグラウンドプリント時：12MB以上の空きメモリ容量(38MB以上を推奨)

* 初期のiMac（ボンダイブルー）でMac OS8.1をお使いの場合は、[iMacアップデート1.0] を使ってMac OS ROMをアップデートする必要があります。
* バックグラウンドプリントの設定を行うと印刷作業がバックグラウンドで行われ、印刷中にほかの作業を行うことができます。この設定を行わないと（フォアグラウンドプリント）、印刷中はMacintoshを使用することができません。

☞ ユーザーズガイド「バックグラウンドプリントについて」101 ページ

- より美しい画像を印刷するには、プリンタの性能に見合った適度な解像度の画像データを用意する必要があります。さらに出力サイズが大きくなればなるほど、お使いになるシステム環境が高性能であることも要求されます。
  本機の性能を十分に発揮させるためには、以下のシステム条件を満たすことが必須です（A1サイズ出力の場合）。

機種	Power PC604e300MHz以上
システムソフトウェア	Mac OS7.6.1以上
メモリ	フォアグラウンド時：21MB以上の空き容量 バックグラウンド時：34MB以上の空き容量
ハードディスク	400MByte以上の空き容量

- USBインターフェイスに接続する場合、プリンタの操作パネルで [プリンタセッテイメニュー] の [パラレルインターフェイス] を [ゴカン] に設定してください（初期設定値は [ゴカン] です）。[パラレルインターフェイス] が [ECP] に設定されていると、USBインターフェイスが正常に動作しません。

● プリンタドライバのインストール

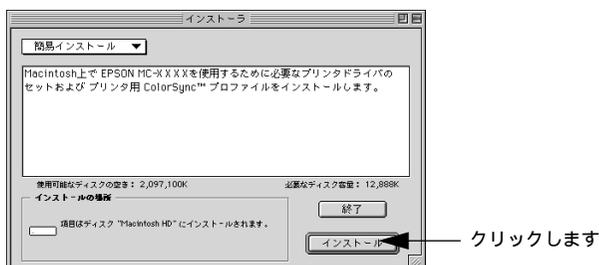
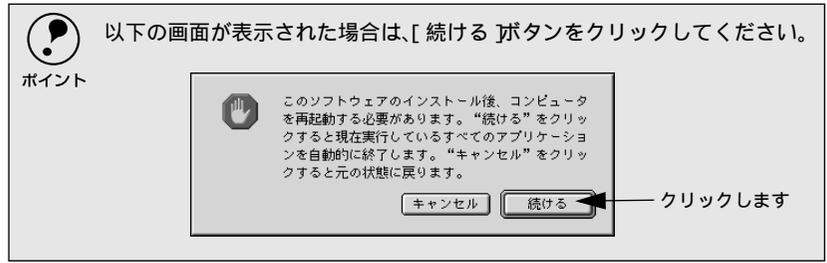
コンピュータとの接続が終了したら、プリンタドライバをコンピュータにインストールします。

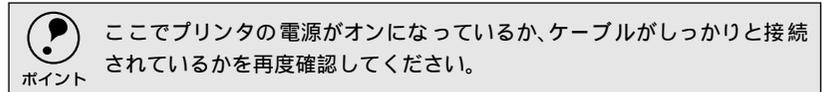
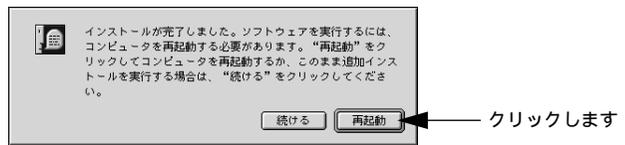
1 **プリンタの電源をオンにします。**

2 **Macintoshを起動し、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。**
CD-ROM のウィンドウが開きます。

3 **［プリンタドライバのインストール］フォルダをダブルクリックし、［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。**
「はじめにお読みください」の内容もお読みください。

4 **［続ける］ボタンをクリックします。**

5 **［インストール］ボタンをクリックします。**
プリンタドライバのインストールが始まります。次の画面が表示されるまでに、少し時間がかかります。しばらくお待ちください。

6 **［再起動］ボタンをクリックします。**

プリンタドライバがインストールされました。続いて、セレクタでプリンタを選択します。

7 **Macintoshが再起動したら、アップルメニューから［セレクタ］を選択します。**

8 **プリンタドライバ［MC-7000］アイコンをクリックし、USBポートを選択します。**

- プリンタドライバが多い場合は表示しきれないことがあります。スクロールバーでウィンドウをスクロールさせてください。
- QuickDraw GXは使用できません。QuickDraw GXを使用停止にしてください。
- 表示されるポートの種類はMacintoshの機種により異なります。
- [バックグラウンドプリント]を[入]にすると、印刷中もMacintoshで他の作業ができます。
- オプションのインターフェイスカードを使ってネットワークに接続している場合は、プリンタが接続されている[AppleTalkゾーン]を選択してからプリンタドライバ[MC-7000]を選択してください。

9 **クローズボックスをクリックして画面を閉じます。**
これでプリンタの選択が終了しました。

● 印刷の設定と実行

プリンタドライバのインストールが終了すると、印刷できるようになります。
ここでは、基本的な印刷の方法について説明します。

セレクタで、MC-7000は選択されていますか？選択されていない場合は、セレクタを開いてMC-7000を選択してください。
本書「プリンタドライバのインストール」54 ページ

1 印刷データを作成します。
アプリケーションソフトなどで印刷データを作成します。

2 プリンタの準備をします。
- プリンタの電源をオンにします。
- 印刷する用紙をセットします。
本書「用紙について」59 ページ
- 用紙に合わせてプリンタの［用紙選択］スイッチで用紙種類を選択します。

3 用紙を設定します。
アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタ設定］）を指定します。

4 各項目を設定します。
各項目については、以下のページを参照するか、? ボタンをクリックしてヘルプをご覧ください。
ユーザーズガイド「［用紙設定］ダイアログ」72 ページ

アプリケーションソフトによっては、独自の［用紙設定］ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

5 ［OK］ボタンをクリックして、終了します。
次に、用紙種類などの設定をして印刷を実行します。

6 印刷を実行します。
アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を指定します。

7 各項目を設定します。

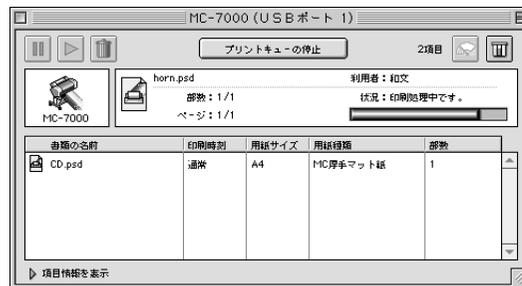
［印刷］ダイアログボックスの［印刷部数］や［用紙種類］などを確認します。通常は［印刷］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

☞ユーザーズガイド「［印刷］ダイアログ」76 ページ
☞ユーザーズガイド「高度な印刷設定について」81 ページ

アプリケーションソフトによっては、独自の［印刷］ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

8 ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

セレクタで［バックグラウンドプリント］を［入］に設定していた場合は、画面上にEPSON Monitor3の画面が表示され、印刷が始まります。

☞ユーザーズガイド「バックグラウンドプリントについて」101 ページ

電源ランプの点滅が点灯に変わり、プリンタの動作音がしなくなれば印刷は終了です。

正常に印刷できなかった場合は、お問い合わせいただく前に以下のページを参照してください。

☞ユーザーズガイド「困ったときは」165 ページ

4

用紙について

ここでは、本機で印刷できる用紙の詳細と印刷手順について説明しています。

使用可能な用紙

本機には、プリンタ性能を十分に発揮させるために専用紙が用意されています。

専用紙を使用すれば従来のエプソンプリンタの高画質に加え、プロフェッショナル、業務用途でも利用していただける優れた耐光性を持った印刷を行うことができます。
専用紙には質感の異なった用紙をいくつか用意しており、目的に合わせて選択していただくことができます。

通常、写真やポスターなどの印刷物は照明（光源）の違いなどによって、色の見え方が異なります。本機で印刷した結果につきましても、光源の種類によって色が異なって見える場合がありますのでご注意ください。光源には太陽光、蛍光灯、白熱灯などの種類があります。

● 用紙の種類

用紙の種類と品質は印刷の仕上がりに大きく影響します。ご使用の前に用紙の取扱説明書をお読みいただき、正しい取り扱いをしてください。

- **高品質な印刷結果を得るためには、専用紙を使用する必要があります。**
  普通紙は試し印刷やレイアウト確認などの用途で使用してください。
- **用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷を行い、印刷の状態を確認してください。**
- **しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのある用紙は使用しないでください。**

エプソン純正専用紙

種別	用紙名称	用紙の特長
普通紙系	普通紙ロール	試し印刷やレイアウト確認などで使用する用紙です。
光沢紙系	MC光沢紙ロール MC光沢紙（単票紙）	写真データの印刷に適した厚手の光沢紙です。 色の再現性が高くカラー校正用紙として使用可能です。 屋内展示物の印刷に適しています。
	MC写真用紙ロール＜光沢＞	ポスターや写真などの印刷に適した薄手の光沢紙です。印刷面が滑らかなためラミネート加工にも適しています。 屋内展示物の印刷に適しています。
	MC写真用紙ロール＜半光沢＞	もっとも写真の風合い（質感）に近い薄手の微光沢紙です。写真データやポスターなどの印刷に最適です。ラミネート加工には適していません。 屋内展示物の印刷に適しています。
マット紙系	MC厚手マット紙ロール	経済的な一般用途向けの厚手の非光沢紙です。 写真データ、ポスター、グラフィックなどの印刷に適しています。ラミネート加工にも適しています。屋内展示物の印刷に適しています。
フィルム系	光沢フィルムロール	光沢感のあるフィルムです。 屋外展示物の印刷にも適しています。 ただし、ラミネート加工して使用することをお勧めします。
ファインアート紙系	MC画材用紙ロール MC画材用紙（単票紙）	写真とは異なる質感を持った画材用紙です。新しいアートの世界を表現することができます。 屋内展示物の印刷に適しています。

種別	用紙名称	用紙の特長
バナー系	MCマット合成紙ロール	ポスター、バナー(垂れ幕)などの用途に適した非光沢な合成紙(フィルム)です。 屋外展示物として使用可能です。ただし、切れやすいため風の強い場所での使用には適しません。
	MCマット合成紙ロール ＜のり付＞	MCマット合成紙ののり付きタイプです。 扱い易い再剥離可能なのりです。また下地が透けないように加工されています。

ポイント

- MCマット合成紙ロール、MCマット合成紙ロール＜のり付＞はハイテンションスピンドル(オプション)をセットして使用することをお勧めします。製品に同梱されているロール紙スピンドルを使用すると連続印刷時に用紙にしわが発生する場合があります。詳しい内容についてはロール紙の取扱説明書をご覧ください。
- MC画材用紙ロールはオプションのハイテンションスピンドル(3インチ紙管)にセットして使用してください。

一般の用紙

エプソン純正専用紙以外の用紙に印刷する場合やラスターイメージプロセッサ(RIP)を使用して印刷する場合の、用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先またはRIPの製造元にお問い合わせください。

● 取り扱い上のご注意

用紙を取り扱う際には、以下の点に注意してください。

- 専用紙は一般室温環境下(温度15〜25℃、湿度40〜60%)でお使いください。
- 用紙を折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- 用紙の印刷面には触れないでください。手に付いた水分や油が、印刷品質に影響します。
- ロール紙は、用紙の端を持って取り扱ってください。または綿製の手袋を着用することをお勧めします。
- 個装箱や個装袋は、用紙の保管時に使用しますのでなくさないでください。

● 保管時のご注意

用紙を保管する際は、以下の点に注意してください。

- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 開封後の単票紙は、袋に戻して水平な状態で保管してください。
- 使用しないロール紙は、スピンドルから取り外し、きちんと巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。
  長期間プリンタにセットしたまま放置すると、用紙品質が低下するおそれがあります。
- 用紙を濡らさないでください。

印刷した用紙を保存する場合は、色合いを保つために、高温、多湿、直射日光を避けて、暗所に保存することをお勧めします。

● 用紙ごとの設定

使用する用紙とプリンタドライバの設定を合わせないと高品質な印刷結果は得られません。用紙ごとの設定項目を示します。

用紙名称	自動カット	プリンタドライバの[用紙種類]
普通紙ロール	可能	普通紙
MC光沢紙ロール	可能	MC光沢紙
MC光沢紙	-	
MC写真用紙ロール＜光沢＞	可能	MC写真用紙＜光沢＞
MC写真用紙ロール＜半光沢＞	可能	MC写真用紙＜半光沢＞
MC厚手マット紙ロール	可能	MC厚手マット紙
光沢フィルムロール	可能	光沢フィルム
MC画材用紙ロール	可能	MC画材用紙
MC画材用紙	-	
MCマッ合成紙ロール	可能	MCマット合成紙
MCマット合成紙ロール＜のり付＞	可能	MCマット合成紙（のり付き）

自動カット ： 用紙によっては本機の内蔵カッターではカットできないものがあります。このような用紙を使用する場合には、必ずプリンタドライバの［自動カッター］の設定をオフにしてください。印刷終了後にカッターなどでカットしてください。添付の手動カッターはクロス紙のみカットすることができます。

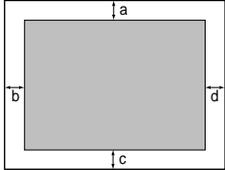
用紙種類 ： 使用する用紙と、プリンタドライバの［用紙種類］の設置を合わせないと高品質な印刷結果は得られません。用紙ごとに選択する［用紙種類］を示します。

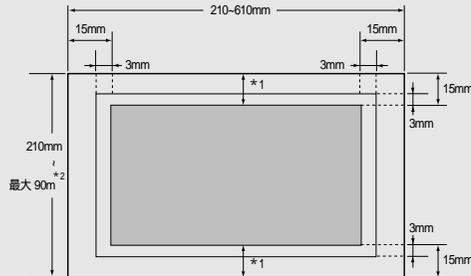
印刷可能領域

本機で印刷できる領域は以下の通りです。

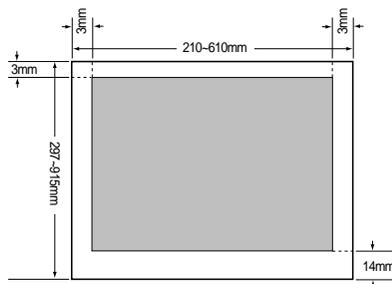
ロール紙

ロール紙の余白は、パネル設定の［ロールシヨハク］の設定値により、異なります。

定値	設定内容
タテ15mm（初期値）	a=15mm/30mm
	b=3mm
	c=15mm
	d=3mm
3mm	a, b, c, d=3mm
15mm	a=15mm/30mm,b, c, d=15mm

*MC厚手マット紙ロール使用時の用紙先端側の余白（a）は30mmになります。

余白を3mmに設定しても15mmに設定しても、印刷可能領域のサイズは変わりません。余白15mmの設定をすると、余白3mmに設定した場合に比べ、1辺につき12mmずつ余白が広く確保されますので、用紙サイズが大きくなります。ただし、余白15mmの設定で用紙幅いっぱいの印刷や自動回転をした場合は（610mm（24インチ）幅のロール紙にA1縦サイズの印刷をしたりA2横サイズの印刷をする場合など）、印刷領域からはみ出した用紙右端のデータが印刷されなくなりますので、注意してください。

*1プリンタドライバの［ロール紙/単票紙］で［ロール紙 長尺モード］の設定をした場合は、用紙上下の余白が0mmとなります。

*2プリンタドライバは2300mm（WindowsNT4.0/2000の場合は15000mm）まで対応しています。それ以上の印刷をする場合は［ロール紙 長尺モード］を選択してください（ただし、長尺モードに対応したアプリケーションソフトか2300mm（WindowsNT4.0/2000の場合は15000mm）を超える用紙サイズをサポートしたRIPを使用した場合に有効）。

単票紙

ロール紙の使い方

● ロール紙の交換

ここでは、ロール紙の取り外し手順と取り付け手順について紙管2インチのロール紙を例に説明します。

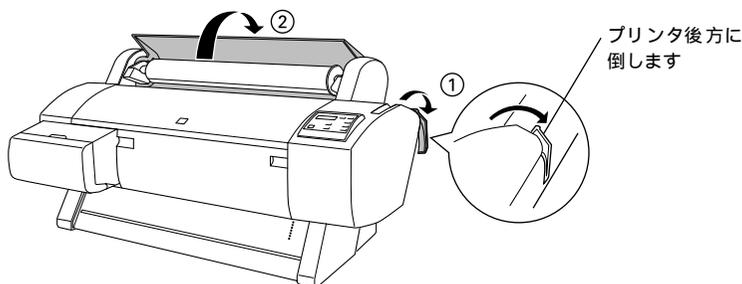
ポイント

紙管3インチのロール紙も同じ手順で取り外しと取り付けができます。この場合は別売の3インチ紙管のロール紙スピンドル（オプション）が必要です。3インチのロール紙は2インチに比べ重いので注意して両端の用紙ストッパを持ってください。

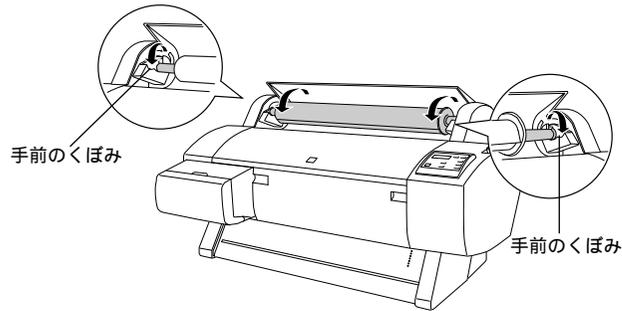
注意

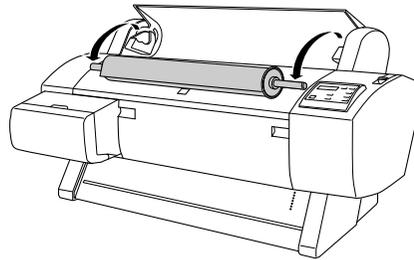
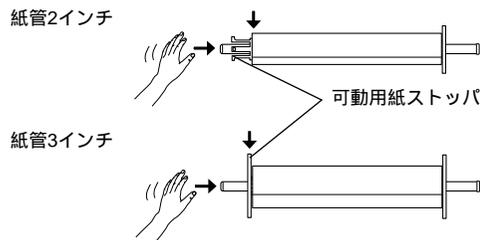
ロール紙の種類によってはハイテンションスピンドル（オプション）を使用しないと正常に印刷できないものがあります。ハイテンションスピンドルを使用する必要があるかについてはロール紙の取扱説明書をご覧ください。また指定のロール紙以外で使用すると印刷品質に影響したり、プリンタが故障する原因になります。

1 用紙セットレバーを後ろに倒し、用紙カバーを開けます。

注意

電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを操作しないでください。

2 ロール紙を巻き戻します。

3 **スピンドルの両端をスピンドル受けの奥のくぼみから外し、一旦手前のくぼみに置きます。**

ポイント
紙管3インチのロール紙を持ち上げるときは、両端の用紙ストッパを持ってください。

4 **スピンドルをプリンタから外し、水平な場所に置きます。**

5 **可動用紙ストッパのフランジ部分を押さえ、スピンドルを図のように軽くたたいて可動用紙ストッパを外します。**
スピンドルを軽くたたくとロール紙が動いて可動用紙ストッパがスピンドルから外れます。

注意
ロール紙を取り外す際に、スピンドルの左端（可動用紙ストッパ側）を床に強く突き当てないでください。スピンドル左端部が衝撃によって破壊するおそれがあります。

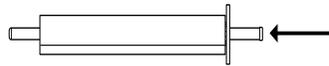
ポイント
ロール紙の芯だけが残ったような状態で外す場合は、芯を押さえてスピンドルをたたいてください。

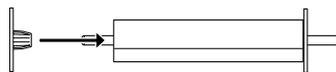
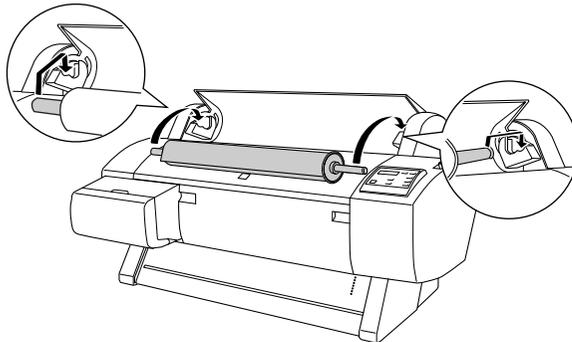
6 ロール紙からスピンドルを外します。

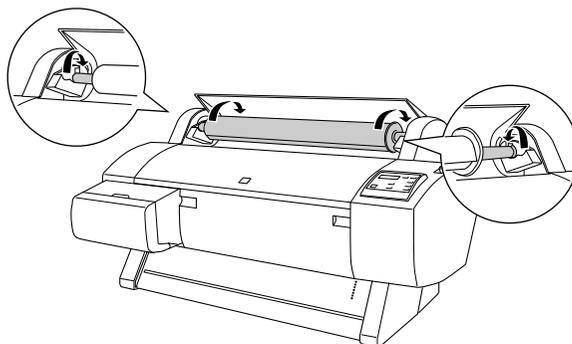
- 取り外したロール紙は、きちんと巻き直してから購入時に梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。専用の個装箱にはロール紙の種類(名称)が記載されておりますので、中に保管してあるロール紙の判別がしやすく便利です。
- ロール紙をセットしない場合は、可動用紙ストッパをスピンドルに取り付け、スピンドルをプリンタにセットして、用紙カバーを閉じてください。

7 スピンドルにロール紙をセットします。

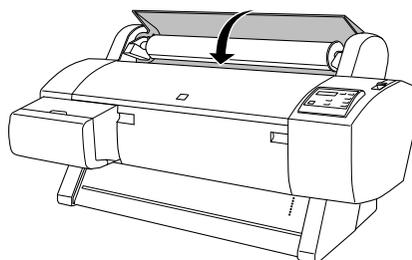
①ロール紙を机の上など平らな場所に置き、固定用紙ストッパ方向から見て左巻きになるようにロール紙をセットします。

②固定用紙ストッパの右端にロール紙の芯が突き当たるまで押し込みます。

8 可動用紙ストッパを取り付けます。

ロール紙の芯にしっかり固定されるまで押し込みます。

9 固定用紙ストッパ側を右側にして持ち、プリンタ上部のくぼみまで一旦持ち上げます。

左右のスピンドル受けの色とスピンドル端部の色を合わせてセットしてください。セット方向を間違えると正常な給紙ができません。

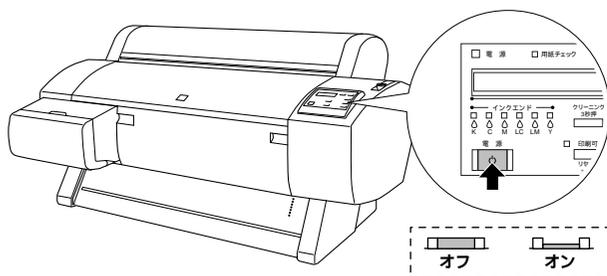
10 **スピンドルの両端をプリンタのスピンドル受けにセットします。**

ポイント

本機やオプションのロール紙スピンドルに同梱されているロール紙固定ベルトは、プリンタにセットされた未使用のロール紙の巻きほぐれを防止するためのベルトです。ロール紙を使用しない場合に固定ベルトをしておくと、巻きほぐれによる事故を防止できます。
ベルトの端をロール紙に当てて、ロール紙を回しながら巻き付けます。必要に応じてお使いください。

11 **用紙カバーを閉じます。**
カバーが固定されるまでしっかり閉じてください。

次にロール紙のセット方法を説明します。ロール紙をプリンタにセットする場合は、続けてお読みください。

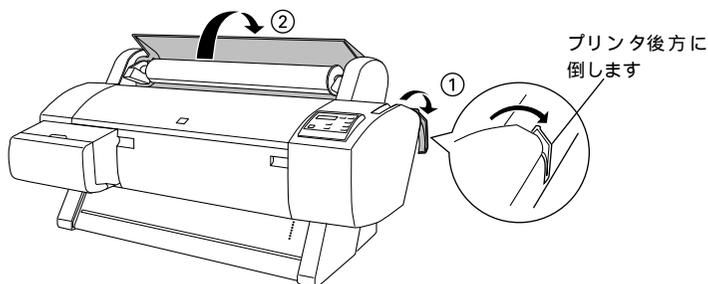
● ロール紙のセット方法

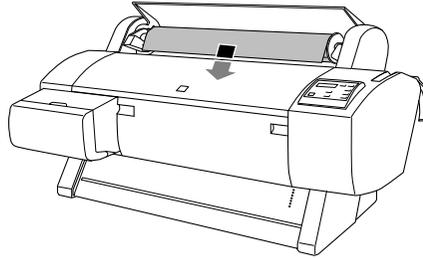
ここでは、ロール紙のセット方法について説明します。
ロール紙の交換・取り付け方法については以下のページを参照してください。
☞ 本書「ロール紙の交換」64 ページ
オプションの紙受け用バスケットをお使いになる場合は、排紙する方向に応じて紙受け用バスケットをセットしてください。
☞ 本書「紙受け用バスケットの使い方（オプション）」81 ページ

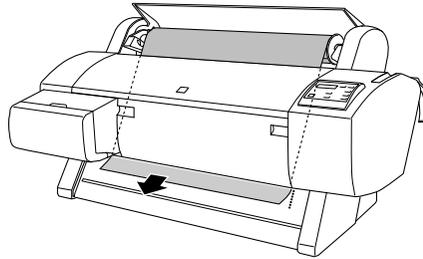
1 **プリンタの電源をオンにします。**
電源ランプが点灯します。

2 **操作パネルの［用紙選択］スイッチを押して、［ロール紙自動カット］または［ロール紙カッター OFF］のどちらかを選択します。**

ロール紙自動カット　：1 ページごとにロール紙をカットしながら印刷します。
ロール紙カッター OFF　：カットせずに連続して印刷します。

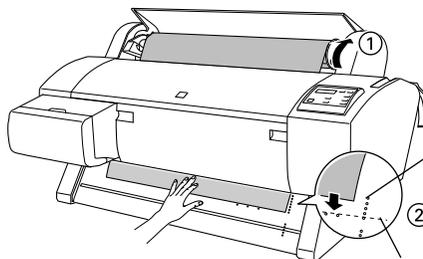
ロール紙の種類によっては、本機の内蔵カッターではカットできないものもあります。ロール紙の取扱説明書や用紙の購入先またはラスターイメージプロセッサ（RIP）の製造元にお問い合わせください。このような用紙については、必ず［ロール紙カッターOFF］の設定にしてください。印刷終了後、カッターなどでカットしてください。

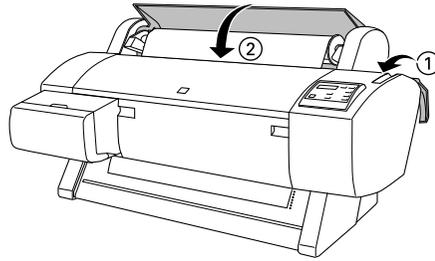
3 **用紙セットレバーを後ろに倒し、用紙カバーを開けます。**

電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを操作しないでください。

4 **ロール紙を給紙スロットにセットします。**

ロール紙端に巻き乱れがある場合は、直してからセットしてください。

5 **フロントカバーの下方からロール紙を引き出します。**

ロール紙の先端がフロントカバーの下方から出てこない場合は、フロントカバーを開けて用紙を下向きに送り出してください。フロントカバーを開けるときは、両端のつまみを持ち、手前に引いて開いてください。

6 **ロール紙の先端を用紙セット位置に合わせます。**

用紙先端を押さえながら、スピンドルを持ってロール紙を少し巻き戻し、用紙のたわみを取り除きます（①）。用紙の中央を持ち用紙全体にたわみが生じないようにセットします（②）。

ロール紙の先端が用紙セット位置より長すぎたり短すぎると用紙を巻き上げきれずにエラーとなります。ロール紙先端の用紙セット位置から2cm以内の引き出し量で用紙をセットしてください。カッターガイドには合わせないでください。

7 **用紙セットレバーを手前に戻してから（①）、用紙カバーを閉じます（②）。**
「[インサツカ］ スイッチヲオシテクダサイ」と表示されます。

［印刷可］スイッチを押すか、そのまましばらく放置すると以下の動作を行います。

ロール紙自動カット　：自動的にプリントヘッドが動いて、用紙幅と用紙先端のチェックを行い、印刷開始位置まで用紙を巻き上げて待機します。パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

ロール紙カッター OFF ：用紙幅のチェックを行い、パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

ポイント

- **上記の動作を行った後、[ロール紙自動カット]に設定している場合は、[カット/排紙]スイッチで、用紙カット位置でロール紙先端を切り揃えることができます。ロール紙の先端に汚れや折れなどがある場合は、[カット/排紙]スイッチを押して、先端部をきれいに切り揃えてください。**
- **印刷時にプリンタドライバで[用紙種類]、[給紙方法]、[用紙サイズ]を設定してください。**
  Windows：ユーザーズガイド「基本設定」17 ページ
  ユーザーズガイド「用紙設定」27 ページ
  Macintosh：ユーザーズガイド「［用紙設定］ダイアログ」72 ページ
- **印刷途中でロール紙が終わってしまった場合は、一旦印刷をキャンセルしてください。操作パネルの[リセット]スイッチを押してリセット操作を行った後で、再度印刷を実行することをお勧めします。**

● ロール紙のカット

[ロール紙自動カット]、[ロール紙カッターOFF]の設定は、プリンタドライバの設定が優先されます。[用紙設定]スイッチで[ロール紙カッターOFF]が設定されていてもプリンタドライバの[自動カッター]の設定がチェックされていると、印刷後ロール紙は自動的にカットされます。

Windows:ユーザーズガイド「用紙設定」27 ページ
Macintosh:ユーザーズガイド「[用紙設定]ダイアログ」72 ページ

[ロール紙自動カット]選択時の場合

印刷前に［用紙選択］スイッチで［ロール紙自動カット］を選択すると、1ページ印刷するごとに自動的にカットされます。

[ロール紙カッターOFF]選択時に内蔵カッターでカットする場合

印刷前に［用紙選択］スイッチで［ロール紙カッター OFF］を選択すると、ロール紙は自動的にはカットされません。次の方法で任意の場所でカットすることができます。

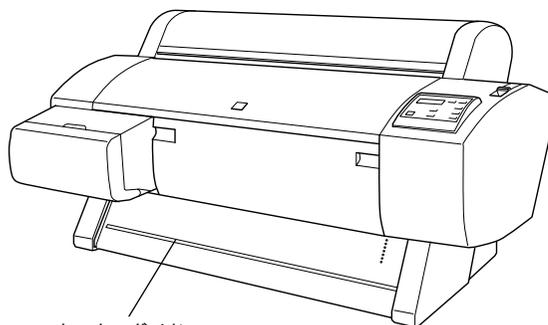
1. **印刷終了後、［用紙送り］スイッチを押して、カットしたい位置まで用紙を送ります。**
   ［用紙送り］スイッチを押さない場合は、最終ページの用紙終端位置でカットされます。

2. **［用紙選択］スイッチで［ロール紙自動カット］に設定します。**

3. **［カット/排紙］スイッチを押します。**
   ロール紙がカットされます。

[ロール紙カッターOFF]選択時にカッターなどでカットする場合

1. **印刷終了後［カット/排紙］スイッチを押します。**
   用紙が自動的にカッターガイドの位置まで紙送りされます。パネルに「ポーズ」と表示されます。

2. **市販のカッターなどでロール紙をカットします。**
   同梱の手動カッターはクロス紙をカットするために使用します。カッターガイドの溝に沿って使用してください。

3. **［印刷可］スイッチを押します。**
   印刷開始位置までロール紙が戻ります。

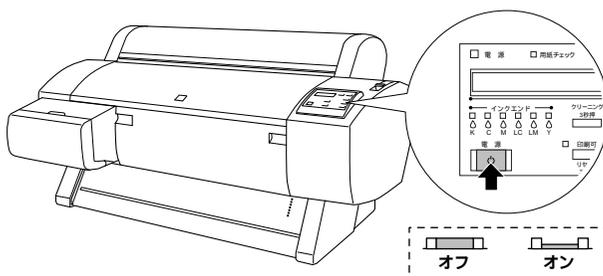
単票紙の使い方

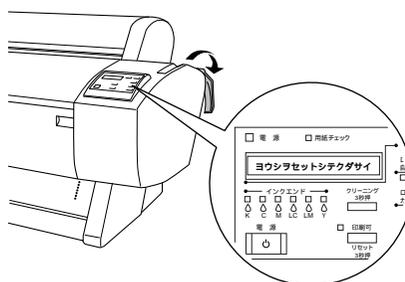
ここでは、単票紙のセット方法について説明します。単票紙のセット方法はA2サイズ以上（A2〜A1ノビ）の用紙、A3ノビサイズ以下の用紙（A4〜A3ノビ）、厚紙とで手順が異なります。
オプションの紙受け用バスケットをお使いになる場合は、排紙する方向に応じて紙受け用バスケットをセットしてください。

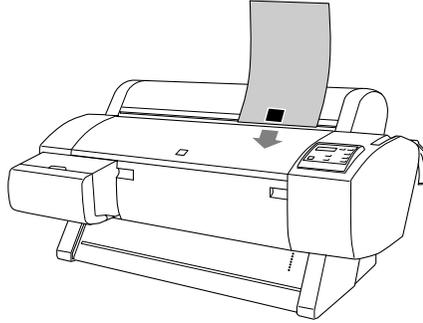
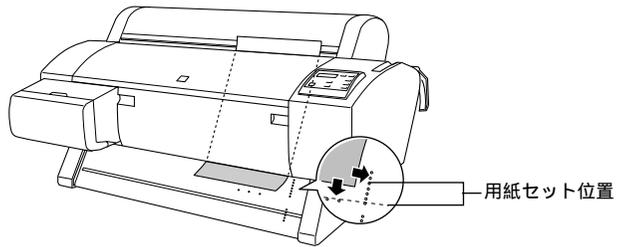
☞ 本書「紙受け用バスケットの使い方（オプション）」81 ページ

ロール紙がセットされている場合は、ロール紙を巻き戻しておいてから単票紙をセットしてください。

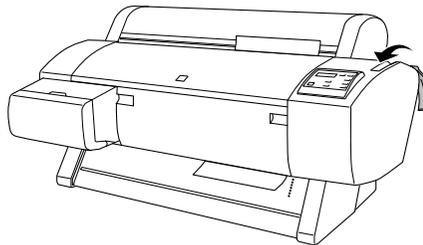
● 単票紙（A2サイズ以上）のセット方法

1 プリンタの電源をオンにします。

2 操作パネルの［用紙選択］スイッチを押して［単票紙］を選択します。

3 用紙セットレバーを後ろに倒します。
用紙チェックランプが点灯し、パネルに「ヨウシヲセットシテクダサイ」と表示されていることを確認してから、用紙セットレバーを操作してください。

電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを操作しないでください。

4 **用紙を給紙スロットにセットします。**

5 **用紙の先端と右端を用紙セット位置に合わせます。**

- **用紙の先端が用紙セット位置より長すぎたり短すぎるとエラーになります。用紙セット位置から2cm以内の引き出し量で用紙をセットしてください。**
- **用紙の先端がフロントカバーの下方から出てこない場合は、フロントカバーを開けて用紙を下向きに送り出してください。フロントカバーを開けるときは、両端のつまみを持ち、手前に引いて開いてください。**

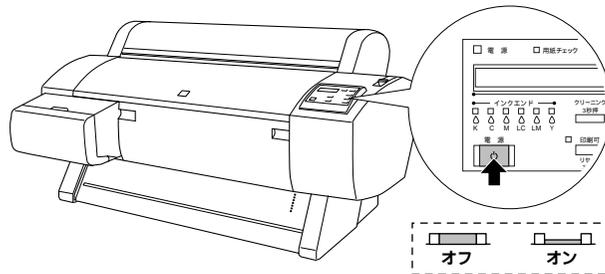
6 **用紙セットレバーを手前に戻します。**

「[インサツカ] スイッチヲオシテクダサイ」と表示されます。

[印刷可] スイッチを押すか、そのまましばらく放置すると、自動的にプリントヘッドが動いて、用紙幅と用紙先端のチェックを行い、印刷開始位置まで用紙を移動させて待機します。パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

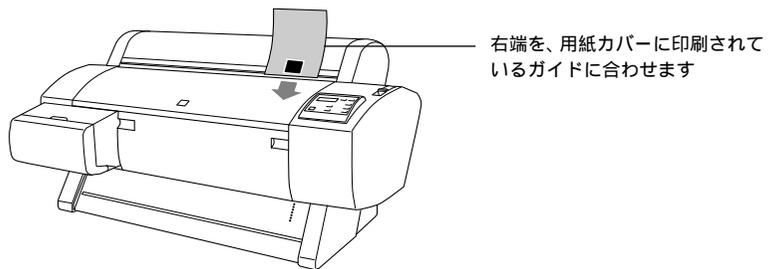
印刷時にプリンタドライバで[用紙種類]、[給紙方法]、[用紙サイズ]を設定してください。

Windows ：ユーザーズガイド「基本設定」17 ページ
ユーザーズガイド「用紙設定」27 ページ
Macintosh：ユーザーズガイド「[用紙設定]ダイアログ」72 ページ

● 単票紙（A3ノビサイズ以下）のセット方法

1 プリンタの電源をオンにします。

2 操作パネルの［用紙選択］スイッチを押して［単票紙］を選択します。

3 用紙を給紙スロットにセットします。

用紙の右端を用紙カバーに印刷されているガイドに合わせて、先端が突き当たるまで差し込みます。

ポイント
A3ノビサイズ以下の単票紙は、用紙セットレバーを手前に戻した状態で差し込んでください。

4 ［印刷可］スイッチ（または［▼］スイッチ）を押します。

自動的にプリントヘッドが動いて、用紙幅と用紙先端のチェックを行い、印刷開始位置まで用紙を移動させて待機します。パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

ポイント
印刷時にプリンタドライバで［用紙種類］、［給紙方法］、［用紙サイズ］を設定してください。

Windows：ユーザーズガイド「基本設定」17 ページ
ユーザーズガイド「用紙設定」27 ページ
Macintosh：ユーザーズガイド「［用紙設定］ダイアログ」72 ページ

● 厚紙のセット方法

ここでは厚紙（用紙厚0.5mm以上）のセット方法について説明します。

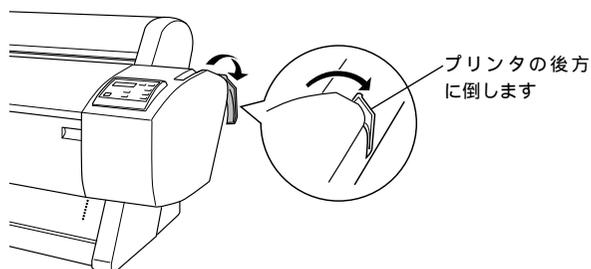
- **セット可能な厚紙の用紙長は728mmまでです。**
- **用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先またはラスターイメージプロセッサ（RIP）の製造元にお問い合わせください。**

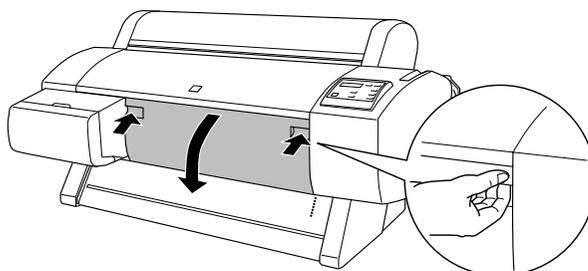
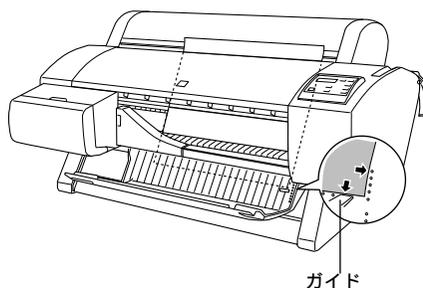
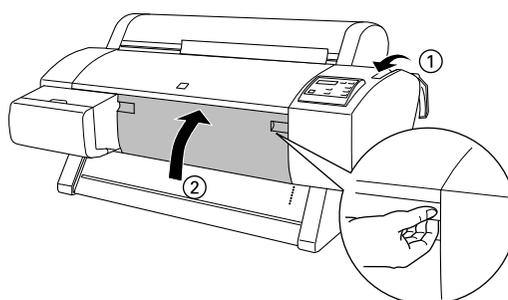
1 オプションの専用スタンドをお使いの方は、紙受け用バスケットを前方排紙の位置にセットします。

☞ 本書「紙受け用バスケットの使い方（オプション）」81 ページ

2 プリンタの電源をオンにします。

3 ［用紙選択］スイッチで［単票紙］を選択します。

4 用紙セットレバーを後ろに倒します。

電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを操作しないでください。

5 フロントカバー両端のつまみを持ち、手前に引いてフロントカバーを開けます。

6 **用紙を給紙スロットにセットします。用紙の右端を用紙セット位置に合わせ、用紙の先端がフロントカバー内側のガイドに突き当たるまでセットします。**

7 **用紙セットレバーを手前に戻してから、フロントカバーを閉じます。**
「インサツカスイッチヲオシテクダサイ」と表示されます。

［印刷可］スイッチを押すか、そのまましばらく放置すると、自動的にプリントヘッドが動いて、用紙幅と用紙先端のチェックを行い、印刷開始位置まで用紙を移動させて待機します。パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

ポイント

印刷時にプリンタドライバで［用紙種類］、［給紙方法］、［用紙サイズ］を設定してください。
Windows ：ユーザーズガイド「基本設定」17 ページ
ユーザーズガイド「用紙設定」27 ページ
Macintosh：ユーザーズガイド「［用紙設定］ダイアログ」72 ページ

注 意

- **エプソン純正以外の用紙に印刷する場合は、以下のページを参照してユーザー用紙設定を行ってから印刷をしてください。**
  本書「ユーザー用紙設定の方法」79 ページ
- **印刷手順については、用紙の取扱説明書や用紙の購入先またはラスターイメージプロセッサ（RIP）の製造元にお問い合わせください。**

● 排紙方法

印刷が終了した用紙（単票紙または厚紙）は、ローラで保持されています。以下の手順で排紙をしてください。

1. **操作パネルに「ヨウシナシ」と表示されていることを確認します。**

2. **［排紙］スイッチ（または［▼］スイッチ）を押します。**
   保持されていた用紙が送り出されます。

電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときは、スイッチを操作しないでください。

送り出された用紙が下に落ちることがあります。落下の際に、用紙端に傷が付かないように受け取ることをお勧めします。

エプソン純正以外の用紙へ印刷する前に

エプソン純正用紙以外の用紙をお使いになる場合は、以下の手順でユーザー用紙設定を行ってから印刷をしてください。4種類まで登録することができます。

ユーザー用紙設定した用紙に印刷をしたときに、印刷のムラが発生する場合は、単方向で印刷をしてください。単方向印刷の設定は、プリンタドライバの［双方向印刷］のチェックを外します。
Windows：ユーザーズガイド「[手動設定］ダイアログ」21 ページ
Macintosh：ユーザーズガイド「[詳細設定］ダイアログ」81 ページ

● ユーザー用紙設定の方法

1 使用したい用紙をプリンタにセットし、[用紙選択] スイッチで用紙を選択します。

ロール紙の種類によっては自動カットできないものやカッターに損傷を与えるものがありますので、このような場合は[ロール紙カッターOFF]を選択してください。詳細は、各用紙の取扱説明書や用紙の購入先またはラスターイメージプロセッサ(RIP)の製造元にお問い合わせください。

2 パネル設定モードの［ユーザーヨウシセッテイメニュー］に移行します。
［パネル設定］スイッチを 4 回押して「ユーザーヨウシセッテイメニュー」を表示させます。

3 登録する番号を選択します。
［設定項目］スイッチを押すと、パネルに「ヨウシバンゴウ = ヒョウジュン＊」と表示されます。
［＋］または［－］スイッチを押して番号を選択し、[設定実行］スイッチを押して登録番号を確定します。
最大 4 種類まで登録することができます。

4 用紙厚を検出するためのパターン印刷を行います。
①［設定項目］スイッチを 1 回押します。パネルに「ヨウシアツケンシュツパターン＝インサツ」と表示されます。
②［設定実行］スイッチを押します。パネルに「チョウセイパターンインサツチュウ」と表示され、パターンが印刷されます。

印刷が終了するとパネルに「ヨウシアツバンゴウ =1」と表示されます。

5 印刷されたパターンを見て、もっともズレの少ないパターン番号を選択します。
①［＋］または［－］スイッチを押してもっともズレの少ない番号（1 ～ 17）を選択します。
②［設定実行］スイッチを押して番号を確定すると番号の後ろに＊（アスタリスク）マークが付きます。

6 必要に応じて乾燥時間を設定します。

乾燥時間に設定した時間が経過するまで、印刷したページをカットしないようにします。用紙によっては、乾燥しにくい場合があります。このような場合は乾燥時間を長めに設定してください。

用紙の特性については、用紙の取扱説明書や用紙の購入先にお問い合わせください。

用紙の乾燥時間の設定が不要の場合は、7 に進んでください。

①[設定項目] スイッチを 1 回押します。
パネルに「カンソウジカン =0 フン ＊」と表示されたことを確認してください。

②[＋] または [－] スイッチで乾燥時間（分単位）（0 フン～ 30 フン）を選択します。

③[設定実行] スイッチを押して乾燥時間を確定すると時間の後ろに＊（アスタリスク）マークが付きます。

7 必要に応じて吸着力を設定します。

通常は設定する必要はありません（「ヒョウジュン」のままにしてください）。薄い用紙で、プリンタ内部に貼り付いてしまって印刷できないときのみ「ヨワイ」にします。

ここで設定した吸着力の値は、ユーザー用紙設定すべてに適用されます。

①[設定項目] スイッチを 1 回押します。
パネルに「キュウチャクリョク = ヒョウジュン ＊」と表示されたことを確認してください。

②[＋] または [－] スイッチで「ヨワイ」を選択します。

③[設定実行] スイッチを押して設定を確定すると設定の後ろに＊（アスタリスク）マークが付きます。

8 [パネル設定] スイッチを押して、設定モードを終了します。

以上でセットした用紙固有の情報が登録されました。セットした用紙に印刷する場合は、続いて印刷を実行してください。

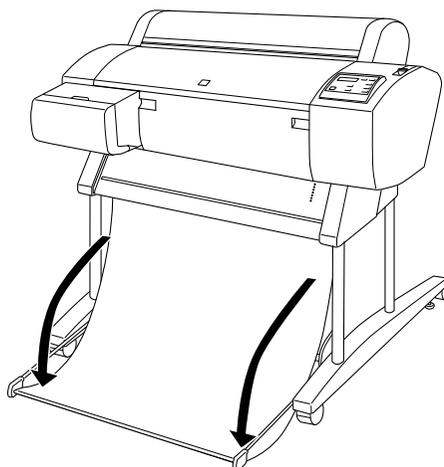
別の用紙を使った後で登録した用紙に印刷をしたいときは、印刷を実行する前に、パネル設定モードの「ユーザーヨウシセッテイメニュー」の「ヨウシバンゴウ」で用紙番号（1 ～ 4）を選択してから印刷を実行してください。

印刷手順については、用紙の取扱説明書や用紙の購入先またはラスターイメージプロセッサ（RIP）の製造元にお問い合わせください。

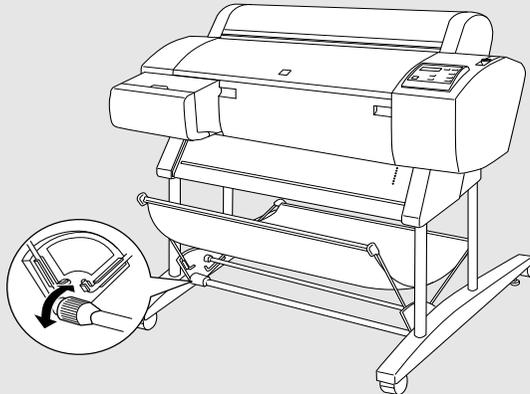
紙受け用バスケットの使い方（オプション）

オプションの脚部についている紙受け用バスケットは、印刷された用紙の汚れや折れなどを防止し、スムーズに排紙されるように必要に応じてお使いください。

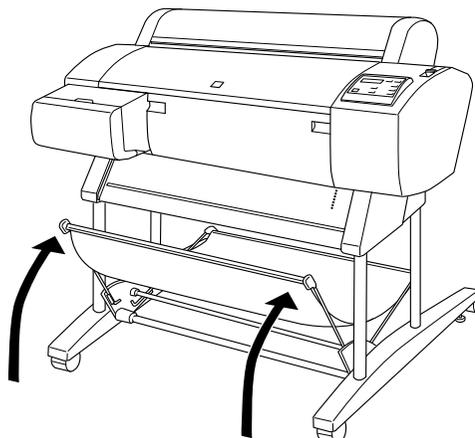
● 前方への排紙

プリンタ前方に排紙する場合は、以下のように紙受け用バスケットを手前に向けてセットしてください。

左右のバーを持ちながら手前に倒します。

ポイント

紙受け用バスケットの固定がゆるくなった場合は、専用スタンド左右の下図の部分を回すことで、固定力を調整できます（下図は、正面から見て左側の部分を示しています。右側も同様に調整できます）。

● 後方への排紙

プリンタ後方に排紙する場合は、以下のように紙受け用バスケットを後ろに向けてセットしてください。

- **後方排紙ができるのは用紙長さが 914.4mm までです。914.4mm を超える長さの用紙は必ず前方排紙をしてください。**
- **用紙厚0.5mm以上の厚紙は、後方排紙できません。**

左右のカバーを持ち上げ、紙受け用バスケットを後ろ向きにします。

5

消耗品の交換

ここでは、インクカートリッジやカッターの交換方法について説明しています。

インクカートリッジの交換

インクカートリッジを交換する前に、インクカートリッジの使用上の注意を確認します。

●インクカートリッジの種類

本機で使用できるインクカートリッジの当社純正品は、下記の通りです。

インクカートリッジ(ブラック)	MC1BK03
インクカートリッジ(シアン)	MC1C03
インクカートリッジ(ライトシアン)	MC1LC03
インクカートリッジ(マゼンタ)	MC1M03
インクカートリッジ(ライトマゼンタ)	MC1LM03
インクカートリッジ(イエロー)	MC1Y03

本製品に添付のプリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。
純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。

●使用上のご注意

- インクカートリッジは、プリンタに装着後は良好な印刷品質を得るために6ヵ月以内に使いきってください。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上室温に放置してから使用してください。
- インクカートリッジは、個装箱に印刷されている有効期限までに使用することをお勧めします。期限を過ぎたものをご使用になると印刷品質に影響を与える場合があります。
- インクカートリッジを分解しないでください。
- 一度取り付けたインクカートリッジは強く振らないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。
- インクが手などに付いてしまった場合は、時間がたつと落ちにくくなるので、すぐに石けんや水で洗い流してください。インクが目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

プリンタを輸送・移動する際には、インクカートリッジをプリンタから取り外し、インクの吸引処理を行ってください。
☞ユーザーズガイド「プリンタの輸送・移動」103 ページ

●保管上のご注意

- インクカートリッジは、冷暗所で保管してください。
- インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。また、インクは飲まないでください。

● インク消費について

各色のインクは、印刷時以外に次の場合にも消費されます。

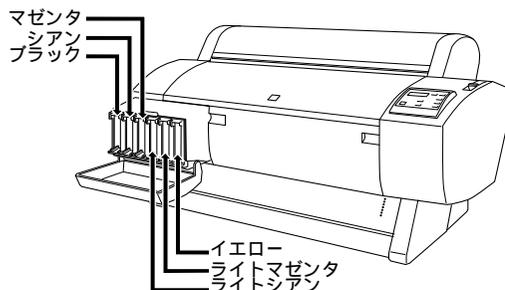
- 電源オンなどのセルフクリーニング[*1]時
- プリントヘッドのクリーニング操作時

*1 セルフクリーニング：プリントヘッドの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能。

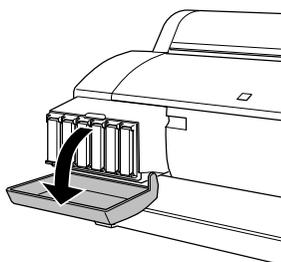
● インクカートリッジの交換

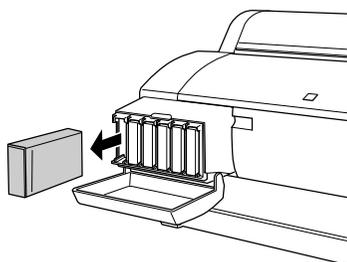
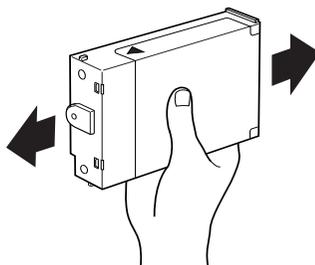
インクエンドランプの点滅は、インクが残り少ないことを示しています。インクがなくなるまで印刷できますが、早めに交換してください。6色のインクカートリッジのうち1色でもインクが終わると印刷ができなくなります。印刷の途中で、インクが終わってしまった場合は、インクエンドランプが点灯しているインクカートリッジを交換することにより、印刷を続行することができます。

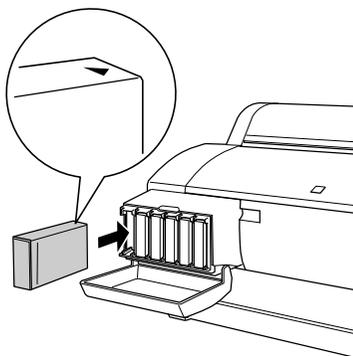
- **インクカートリッジは、6色すべてセットしてください。**
- **交換作業中は、プリンタの電源をオフにしたり、電源コードをコンセントから抜いたりしないでください。**
- **インクカートリッジのインクの補充は、絶対にしないでください。場合によって正常に作動・印刷ができなくなるおそれがあります。**
- **交換用のインクカートリッジがお手元にない場合は、交換するまで使い終わったインクカートリッジを装着したままにしておいてください。インクカートリッジを装着していない状態で放置するとヘッドが目詰まりする原因となります。**
- **使いかけのインクを再度取り付けたり、プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換しないでください。インク残量の検出が正しく行われず正常な印字ができなくなります。**
- **インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。間違った方法でインクカートリッジを交換するとインクエンドランプが消灯しなかったり、インク残量が正しく検知されないため、すぐにインクエンドランプが点灯するなどの問題が発生する場合があります。**

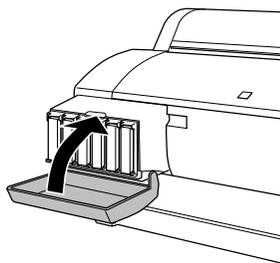
インクカートリッジは色によって装着するスロットが決まっています。スロット手前のマークの色とインクの色、記載されている型番（MC1＊03）とインクカートリッジの型番を合わせて取り付けてください。

インクカートリッジは誤挿入防止構造になっています。スロットにスムーズに挿入できない場合は、誤挿入の可能性があります。無理やり押し込んだりしないでください。

以降の説明は、ブラックのインクカートリッジを交換する場合を例にしています。

1. **プリンタの電源がオンになっていることを確認します。**
2. **インクカートリッジ収納ボックスのカバーを開けます。**

3. **カートリッジスロットからインクカートリッジを外します。**

交換後のインクカートリッジは、インク供給部からインクが漏れることがあります。交換作業後、使用済みのインクカートリッジはビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

4. **新しいインクカートリッジを袋から出し、良好な印刷品質を得るために2、3回軽く振ります。**

5 カートリッジスロットにインクカートリッジを取り付けます。

インクカートリッジの▲マークを上にして、プリンタ側に向けて挿入します。インクカートリッジはスロットの奥までしっかり挿入してください。インクカートリッジが挿入されると、ブラックインクエンドランプが消灯しますので、インクエンドランプを確認してください。

6 インクカートリッジ収納ボックスのカバーを閉じます。

カバーが固定されるまでしっかり閉じてください。

以上でインクカートリッジ交換作業が終了しました。
印刷の途中でインクカートリッジを交換した場合は、印刷を続行します。

●インクカートリッジのリサイクルについて

弊社では環境保全活動の一環として、使用済みインクカートリッジの回収を行っております。このため「使用済みカートリッジ回収ポスト」を回収協力販売店とエプソン販売（株）の営業拠点に設置し、集まった使用済みカートリッジを定期的に回収して再資源化しております。使用済みカートリッジはぜひ最寄りの回収拠点までお持ちいただき、回収ポストに投函してくださいますようご協力をお願いいたします。

● プリントヘッドの保護

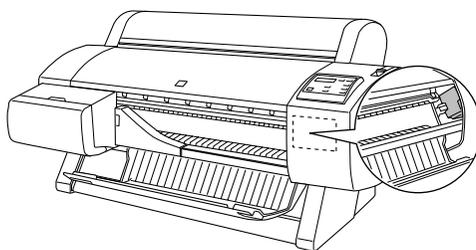
本プリンタには、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷品質を得るための「セルフクリーニング機能」と「キャッピング機能」があります。

セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能で、プリンタの電源投入時（ウォーミングアップ時）などに定期的に行われます（6色すべてのインクを微量吸引して、ノズルの乾燥を防ぎます）。

キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ(フタ)をする機能です。キャッピングは、次のタイミングで行われます。

- 印刷終了後(印刷データが途絶えて)、数秒経過したとき
- 印刷停止状態になったとき

プリントヘッドが図のように右端にあれば、キャッピングされています。

注 意

- キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。
- 用紙が詰まったときやエラーが起こったときなど、キャッピングされていないまま電源をオフにした場合は、再度電源をオンにしてください。しばらくすると、自動的にキャッピングが行われますので、キャッピングを確認した後で電源をオフにしてください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。
- プリンタの電源がオンの状態で、電源コードをコンセントから抜かないでください。キャッピングされない場合があります。

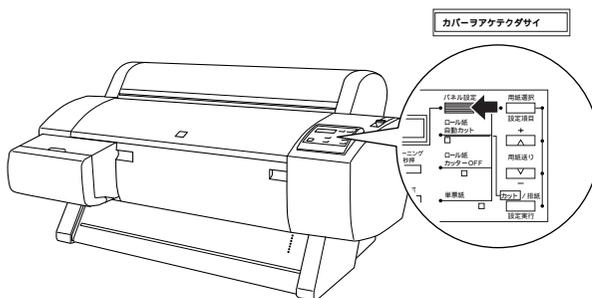
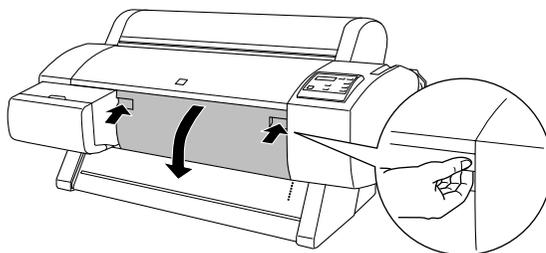
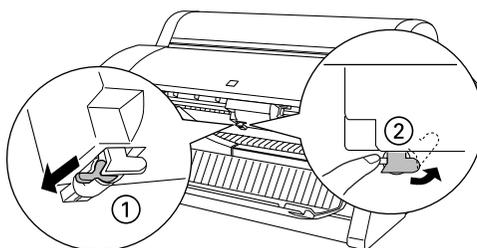
カッターの交換

用紙がきれいに切り取れなくなったり、カット部に毛羽立ちなどが発生したら、カッターを交換してください。
本機で使用できるカッターの当社純正品は、以下の通りです。

ペーパーカッター替え刃	PM90SPB

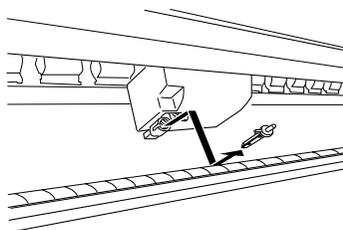
- **カッター交換作業は短時間で行ってください。プリントヘッドがカッター交換位置にあるままで放置すると、ヘッドが目詰まりする原因となります。**
- **カッター刃を傷付けないように取り扱ってください。落下や硬い物に当たると刃が欠けることがあります。**

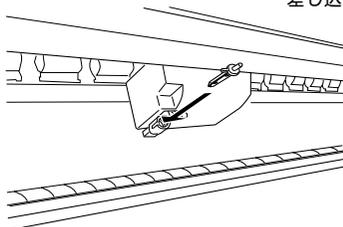
1. **プリンタの電源がオンになっていることを確認します。**

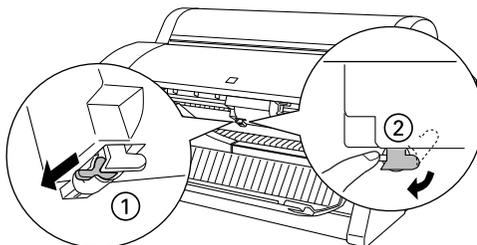
2. **［パネル設定］スイッチを5秒間押し続けます。**
「カバーヲアケテクダサイ」と表示されます。

3. **フロントカバー両端のつまみを持ち、手前に引いてフロントカバーを開けます。**
カッター交換位置までプリントヘッドが移動し、交換位置で停止しています。
パネルに「カッターヲコウカンシテクダサイ」と表示されます。

4 カッター押さえのツマミを軽く押しながら（①）、カッター押さえのレバーを図の方向に回転させます（②）。

カッターホルダにはバネが組み込まれています。カッター押さえのツマミを強く押したり、急に離すとカッターが飛び出すおそれがありますので注意してください。
また、奥まで押し込むとカッターの刃がプリンタ内部を傷付けるおそれがありますので、軽く押すようにしてください。

5 カッターを取り出します。

⚠注意

カッター取り扱い時には、カッターの刃でけがをしないように十分に注意してください。

使用済みのカッターは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

6 新しいカッターを箱から取り出し、カッターを図のように取り付けます。

カッターホルダに組み込まれているバネを飛ばさないように取り付けてください。

7 **カッター押さえのツマミを軽く押しながら（①）、カッター押さえのレバーを元の位置に戻します（②）。**

注意

カッターホルダにはバネが組み込まれています。カッター押さえのツマミを強く押したり、急に離すとカッターが飛び出すおそれがありますので注意してください。
また、奥まで押し込むとカッターの刃がプリンタ内部を傷付けるおそれがありますので、軽く押すようにしてください。

8 **フロントカバーを閉じます。**

プリントヘッドが右端に移動します。

以上でカッター交換作業が終了しました。

ポイント

カッター交換が終了したら、ノズルチェックパターン印刷をして目詰まりしてないことを確認してください。
☞本書「ノズルチェックパターン印刷」94 ページ

6

プリンタのメンテナンス

ここでは、プリンタのメンテナンスについて説明をしています。

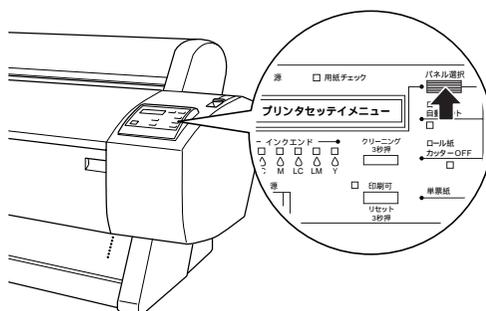
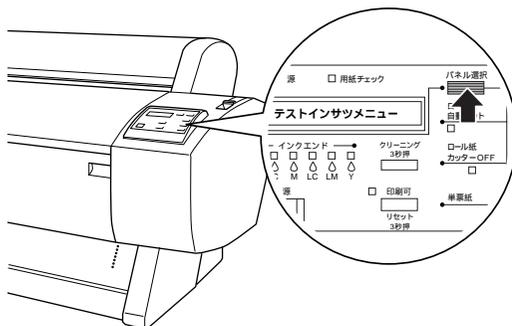
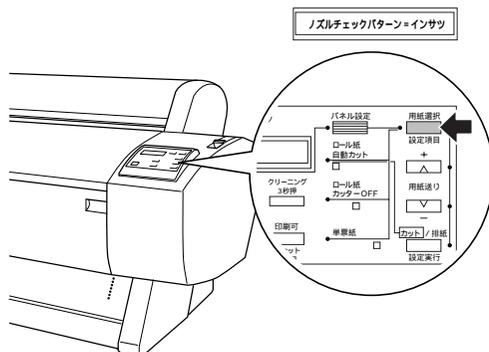
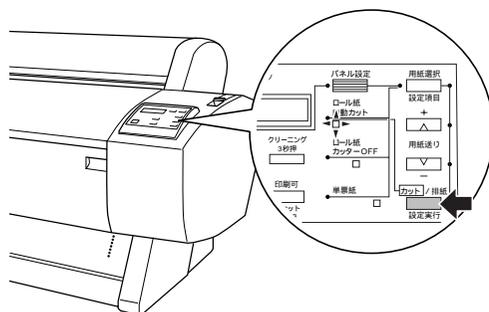
ノズルチェックパターン印刷

ノズルチェックパターン印刷とは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしているかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間があく場合は、ヘッドクリーニングをしてください。

ポイント

ノズルチェックパターン印刷は、ユーティリティからも行えます。
Windows：ユーザーズガイド「ノズルチェックパターン印刷」39 ページ
Macintosh：ユーザーズガイド「ノズルチェックパターン印刷」92 ページ

1. プリンタに用紙をセットします。

2. ［パネル設定］スイッチを押して、パネル設定モードに入ります。
パネルに「プリンタセッテイメニュー」と表示されます。

3. ［パネル設定］スイッチをもう１回押します。
パネルに「テストインサツメニュー」と表示されます。

4 **［設定項目］スイッチを押します。**
パネルに「ノズルチェックパターン＝インサツ」と表示されます。

5 **［設定実行］スイッチを押します。**
ノズルチェックパターンが印刷されます。

6 **印刷されたノズルチェックパターンを確認します。**

＜良い例＞　　**＜悪い例＞**

＜悪い例＞のようにノズルチェックパターンが欠けている場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

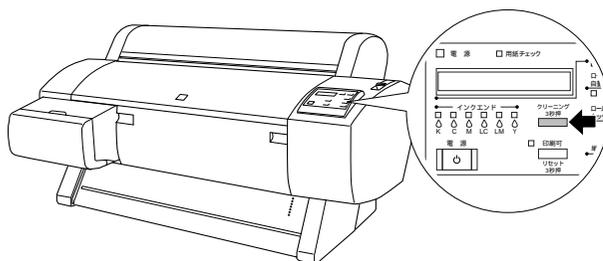
☞ 本書「ヘッドクリーニング」96 ページ

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間があくようになったら、次の手順に従ってヘッドクリーニングしてください。

ポイント

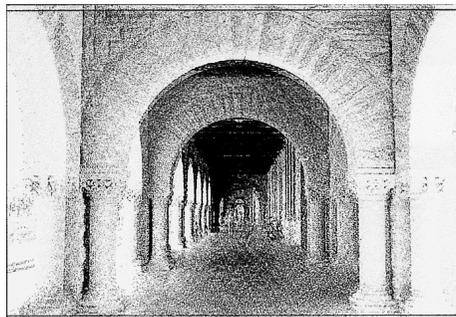
- ヘッドクリーニングはすべてのインクを同時に使います。文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。
- 厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。パネルメッセージに従って用紙を取り除き、用紙セットレバーを手前に戻すと自動的にクリーニングを開始します。
- ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷などで印刷結果を確認してください。
- ヘッドクリーニングは、インクエンドランプが点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください。
  本書「インクカートリッジの交換」84 ページ
- ヘッドクリーニングは、ユーティリティからも行えます。
  Windows：ユーザーズガイド「ヘッドクリーニング」40 ページ
  Macintosh：ユーザーズガイド「ヘッドクリーニング」94 ページ

1 ［クリーニング］スイッチを3秒押します。

プリンタの印刷可ランプが点滅し、ヘッドクリーニングが始まります。
ヘッドクリーニングは約 1 分続きます。
印刷可ランプの点滅が点灯になればクリーニングが終了です。

2 ノズルチェックパターン印刷を実行し、印刷結果を確認します。

ギャップ調整

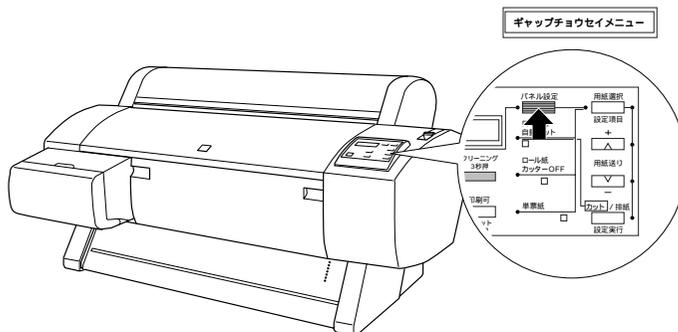
双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。

印刷結果がピントがぼけたようになる

ポイント

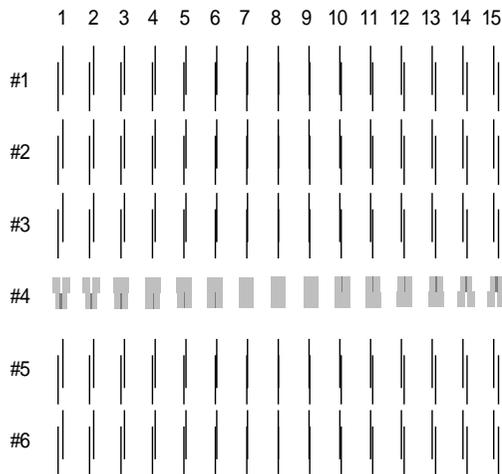
- ギャップ調整は必ず MC 厚手マット紙ロールをセットして作業を行ってください。
- すべての調整パターン印刷には約 4 分かかります。ロール紙を約 50cm 使用します。
- ギャップ調整は、ユーティリティからも行えます。

☞ Windows：ユーザーズガイド「ギャップ調整」42 ページ
☞ Macintosh：ユーザーズガイド「ギャップ調整」96 ページ

1 プリンタにMC厚手マット紙ロールをセットし、［用紙選択］スイッチを押して［ロール紙自動カット］を選択します（印刷されたシートは数枚にカットされます）。

2 ［パネル設定］スイッチを押して、パネル設定モードに入ります。再度［パネル設定］スイッチを「ギャップチョウセイメニュー」と表示されるまで押します。

③ すべての調整パターンを印刷してみます。

①［設定項目］スイッチを押し、「ヨウシアツ＝ヒョウジュン」と表示されたら［設定項目］スイッチを押します。
②「チョウセイ＝ゼンブ」と表示されていることを確認して［設定実行］スイッチを押します。
「チョウセイパターン インサツチュウ」と表示されてすべての調整パターンが印刷されます。

＜印刷例＞
このようなパターンが用紙幅いっぱいに 3 個印刷されます。調整は用紙の中心にある 2 番目のパターンを使って行います。

印刷が終了するとパネルに「♯ 1 セッテイ＝ 8　＊」と表示されます。
- 印刷例のようにすべての調整パターンのパターン番号 8 がもっともズレの少ない線、中央の線がめだたない長方形になっている場合はギャップ調整を行う必要がありません。［印刷可］スイッチを押してパネル設定モードを終了し❼へ進んでください。
- 調整パターンごとに、もっともズレの少ない線または中央の線がめだたない長方形が8以外になっている場合は、❹に進んでください。

④ 印刷されたシートを見て、調整パターンごとにもっともズレの少ないパターン番号を探します。

5 **［設定項目］スイッチを押すたびに、調整パターン名が以下の順に変わります。調整パターンごとに❹で探したもっともズレの少ないパターン番号（1～15）を登録します。**

調整パターン（設定項目）	パターン番号（設定値）
#1セッテイ	1～15（8が初期値）
#2セッテイ	1～15（8が初期値）
#3セッテイ	1～15（8が初期値）
#4セッテイ	1～15（8が初期値）
#5セッテイ	1～15（8が初期値）
#6セッテイ	1～15（8が初期値）

パターン番号を変更する場合は、以下の手順に従ってください。

① ［設定項目］スイッチを押して設定値を変更する調整パターン名を選択します。
② ［+］または［−］スイッチでパターン番号（1～15）を選択します。
［+］を押すと、設定値の数値が増加します。
［−］を押すと、設定値の数値が減少します。
③ ［設定実行］スイッチを押すと、設定値の後に＊（アスタリスク）マークが付き、選択した値を登録してから次の調整パターン名を表示します。
④ ①～③の作業を繰り返して、変更が必要なすべてのパターンについて設定をします。

6 **設定が終了したら、再度調整パターンの印刷を行い（❷～❸参照）、調整が正しくされたことを確認します。**
再印刷した結果、各調整パターンのパターン番号 8がもっともズレの少ない線、中央の線がめだたない長方形になっていれば調整が正しく行われています。

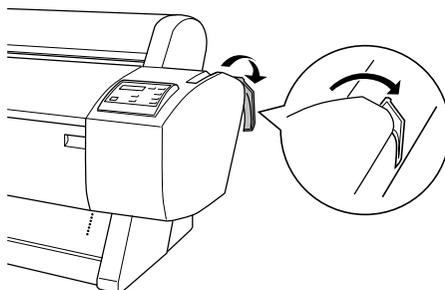
ポイント

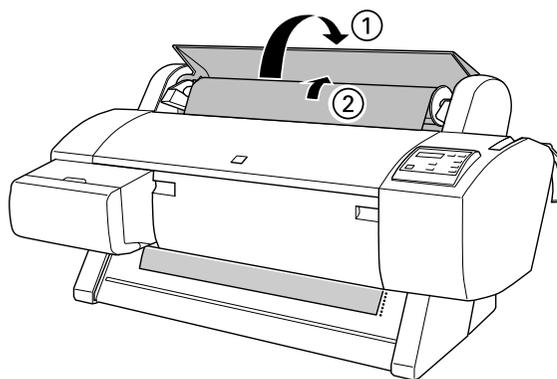
調整したパターンのみを印刷して、再度調整する手順は次の通りです。
①［パネル設定］スイッチを「ギャップチョウセイメニュー」と表示されるまで押します。
②［設定項目］スイッチを押して「ヨウシアツ = ヒョウジュン」と表示されたら、［設定実行］スイッチを押します。パネルに「チョウセイ=ゼンブ」と表示されます。
③ ［+］または［−］スイッチで印刷したい調整パターン名を選択して［設定実行］スイッチを押します。パネルに「チョウセイパターン インサツチュウ」と表示されて任意のパターンを印刷します。
④パターン番号8がもっともズレの少ない線、中央の線がめだたない長方形になっているかを確認します。8以外になっている場合は再調整します。

7 **［印刷可］スイッチを押して、パネル設定モードを終了します。**
パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

用紙が詰まった

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 **用紙セットレバーを上げて解除します。**

電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを操作しないでください。

2 **用紙カバーを開けて、ロール紙を巻き戻します。**
単票紙の場合は、そのまま取り出します。

3 **操作パネルに「サイキドウシテクダサイ」と表示されたら、一旦電源を切り、再度電源をオンにします。**

プリンタのお手入れ

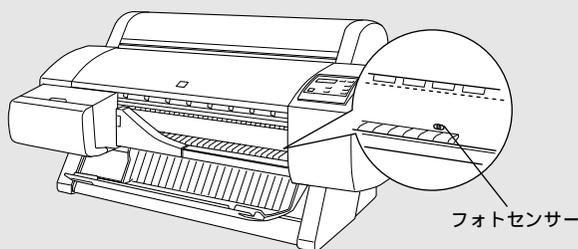
プリンタをいつでも良い状態でご使用できるように、定期的（１年に数回）にプリンタのお手入れをしてください。

1. プリンタから用紙を取り除きます。
2. プリンタの電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜きます。
3. 柔らかいブラシを使って、ホコリや汚れを注意深く払います。

⚠注意

プリンタ内部に水気が入らないように、注意して拭いてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。

ポイント

フォトセンサーの汚れは、綿棒などの柔らかいものを使って落としてください。

プリンタ内部がインクで汚れた場合は

プリンタの電源がオフになっていることを確認してから、よく絞った布で拭き取ります。

- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質・変形するおそれがあります。
- プリンタメカニズムや電気部品に水がかからないように、注意深く扱ってください。
- 硬いブラシを使用しないでください。プリンタ表面を傷付けることがあります。
- プリンタ内部に潤滑油などを注油しないでください。プリンタメカニズムが故障するおそれがあります。潤滑油が必要と思われる場合は、エプソンの修理窓口にご相談ください。

  ☞ 本書「サービス・サポートのご案内」108 ページ

通常は印刷イメージが用紙幅より大きい場合や用紙が斜行すると印刷が停止しますが、パネル設定の[ヨウシハバケンシュツ]や[シャコウエラーケンシュツ]が[OFF]になっているとそのまま印刷され、印刷領域からはみ出すためプリンタ内部が汚れます。
プリンタ内部を汚さないためにも、パネル設定の[ヨウシハバケンシュツ]や[シャコウエラーケンシュツ]は[ON]に設定してください。

● プリンタを長期間使用しなかった場合は

インクカートリッジを取り外した状態で、プリンタを放置しないでください。プリンタ内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。プリンタを使用しない場合も、インクカートリッジは6色全部を取り付けた状態にしてください。

- プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。
  ヘッドの目詰まりを防ぐために、定期的に印刷していただくことをお勧めします。また、印刷しない場合でも、月に1回はプリンタの電源をオンにして、数分（1〜2分）おいてください。
- 長期間使用していないプリンタを使用する場合は、必ずノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの目詰まりの状態を確認してください。ノズルチェックパターンがきれいに印刷できない場合は、ヘッドクリーニングをしてから印刷してください。

☞ 本書「ノズルチェックパターン印刷」94 ページ
☞ 本書「ヘッドクリーニング」96 ページ

- 長期間使用していないプリンタは、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、ノズルチェックパターンが正常に印刷されないことがあります。ヘッドクリーニングを5回繰り返してもノズルチェックパターンの印刷結果がまったく改善されない場合は、プリンタの電源をオフにして一晩以上経過した後、再度ノズルチェックパターン印刷とヘッドクリーニングを実行してください。

- **ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。**
- **上記の手順を実行しても正常に印刷できない場合は、インフォメーションセンターへお問い合わせください。インフォメーションセンターのお問い合わせ先は本書の裏表紙をご覧ください。**

プリンタの輸送・移動

● 輸送の方法

輸送の際は、震動や衝撃からプリンタ本体を守るために、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包する必要があります。
輸送する場合は、本機をお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

● 移動の方法

- **水平の状態で移動させてください。プリンタ本体を傾けたり立てかけたり、上下を逆にしないでください。プリンタ内部でインクが漏れるおそれがあります。また、移動後の正常な動作が保証できません。**
- **オプションの専用スタンドに付属のキャスターは運搬機器のキャスターとは異なり、屋内の平坦な場所において多少の移動を行う場合のみを想定して作られています。**

1. **用紙セットレバーを手前に戻し、フロントカバーが開いていないことを確認します。**

2. **電源がオンになっている状態のまま、すべてのインクカートリッジを取り外します。**
   取り外し方は、以下のページを参照してください。
   本書「インクカートリッジの交換」85 ページ

3. **電源をオフにします。**
   しばらく「ユソウジュンビチュウ＊＊%」と表示され（約 2 分間）インク排出処理が行われます。終了すると自動的に電源がオフになります。

   インク排出中は、以下の操作を絶対に行わないでください。
   - **用紙セットレバーを後方に倒す**
   - **フロントカバーを開ける**
   - **電源コードを取り外す**

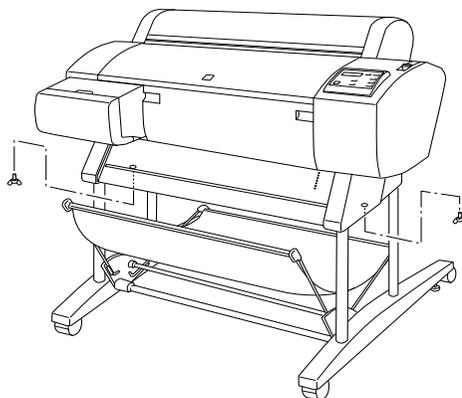
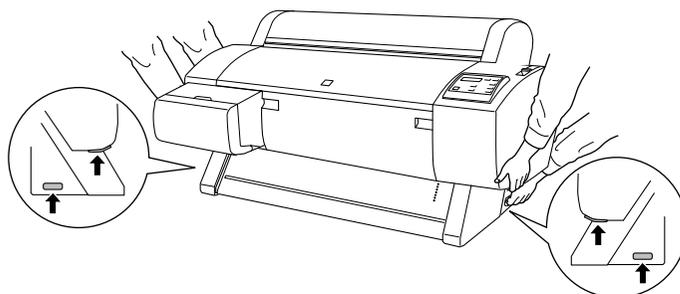
4. **スピンドルを取り外します。**

5. **電源コードなどのケーブル類をすべて取り外します。**

6. **オプションの専用スタンドが付いているときはキャスターのロックを解除して移動します。**
   オプションの専用スタンドと分離して移動する場合は、次の手順を参照してください。

専用スタンドの取り外し

プリンタ本体とオプションの専用スタンドを分離して運ぶ場合は、以下のようにしてください。

1. **底面の固定ボルト（2個）を外します。**

2. **プリンタ本体の左右の手掛け部に手をかけて、2人以上で持ち上げます。**

プリンタ底面の排紙サポートを引き出した状態でプリンタを持ち上げないでください。プリンタを降ろす際に、破損するおそれがあります。

移動後の手順

移動後は以下の手順で本機を使用可能な状態にしてください。

1. **据置場所に適した場所を確認します。**
   開梱と据置作業を行われる方へ「据置に適した場所」7 ページ

2. **オプションの専用スタンドを使用する場合は、先に取り付けます。**
   開梱と据置作業を行われる方へ
   「専用スタンド（オプション）の取り付け」5 ページ

3. **オプションの専用スタンドごと移動した場合や専用スタンドを取り付けた場合は、キャスターをロックします。**

4. **電源コードを取り付けます。**
   本書「電源コードの接続」26 ページ

5. **インクカートリッジを取り付けます。**
   本書「インクカートリッジの取り付け」28 ページ

- **必ず新品のインクカートリッジを取り付けてください。使いかけのインクカートリッジを取り付けると、インク残量が正しく把握できなくなります。**
  また、インクカートリッジを外した状態で放置しないでください。プリンタ内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。輸送後すぐにプリンタを使用しない場合も、インクカートリッジは6色全部を取り付けてください。
- **輸送後は早めにインクを充てんしてください。**

6. **プリントヘッドの目詰まりがないかをチェックします。**
   本書「ノズルチェックパターン印刷」35 ページ

7. **ギャップ調整を行います。**
   本書「ギャップ調整」38 ページ

付録

ここでは、より快適にお使いいただくための提案や、本製品をお使いいただくうえで知っておいていただきたいことなどについて説明しています。

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス、サポートをご案内いたします。

●エプソンFAXインフォメーション

EPSON製品に関する最新情報を24時間FAXでお引き出しいただけます。
FAX付属の電話機(プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種)からおかけください。
FAX番号：本書巻末の一覧表をご覧ください。
情報内容：製品情報（カタログ、機能概要）
技術情報（Q&A他）
パソコンスクール、サービスセンター情報など

●エプソンインフォメーションセンター

EPSONプリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。
受付時間：本書巻末の一覧表をご覧ください。
電話番号：本書巻末の一覧表をご覧ください。
お問い合わせの際には巻末の「お問い合わせ確認票」にご記入の上、お電話をおかけください。

●インターネット・パソコン通信サービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、
インターネット、パソコン通信による情報の提供を行っています。

- インターネット
  【アドレス】http://www.i-love-epson.co.jp
  【サービス名】ドライバダウンロード
- パソコン通信名
  @niftyパソコン通信サービス　:EPSON information Forum
  (コマンド：GO FEPSONI)
  は、半角スペースです。

* @nifty（アット・ニフティ）会員のうち、旧NIFTY SERVE会員のみ利用可能。

●ショールーム

EPSON製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）
受付時間　：本書巻末の一覧表をご覧ください。
所在地　　：本書巻末の一覧表をご覧ください。

● パソコンスクール

スキャナ、デジタルカメラ、プリンタそしてパソコン。
でも分厚い解説本を見たとたん、どうもやる気が失せてしまう。
エプソン・デジタル・カレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。お問い合わせは本書巻末の一覧をご覧ください。

●エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応
  スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心
  万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単
  エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化
  エプソンサービスパック規約内•期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費用の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

● 保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず以下のページをお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

☞ ユーザーズガイド「困ったときは」165 ページ

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。
保守サービスに関してのご相談、お申込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンフィールドセンター
  （本書巻末の一覧表をご覧ください。）
  受付日時：月曜日～金曜日(土日祝祭日•弊社指定の休日を除く)
  受付時間：9:00～17:30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスを用意しております。
詳細については、お買い求めの販売店または最寄りのエプソンフィールドセンターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代・部品代* が無償になるため予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 * 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料＋技術料＋部品代 修理完了後、そのつどお支払いください

* 定期交換に伴う出張基本料・技術料・部品代が、保証期間内・外を問わず有償となります。
（年間保守契約の場合は、定期交換部品のみ、有償となります。）

* 当機種は、輸送の際に専門業者が必要となりますので持込保守および持込修理はご遠慮願います。

通信販売のご案内

EPSON製品の消耗品・オプション品・マニュアルがお近くの販売店で入手困難な場合は、以下の通信販売をご利用ください。

●お申し込み方法

エプソンOAサプライ株式会社にてお受けしております。

お電話で	フリーダイヤル：0120-251-528 受付時間 AM9:30〜PM6:15（土・日・祝祭日を除く）
FAXで	フリーダイヤル：0120-557-765 24時間受付 巻末の「FAXオーダーシート」をコピーし、必要事項をご記入の上、ご注文ください。
インターネットで	http://www2.i-love-epson.co.jp/eos/home/

*電話番号のかけ間違いにご注意ください。

●お届け方法

当日配送	当日PM4:30までのご注文受付分は、即日配送いたします。（在庫分のみ）
お届け予定日	本州・四国…翌日　北海道・九州…翌々日

● お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払ください。
クレジット	UC、JCB、VISA、MC、DC、NICOS （支払回数は、NICOSのみ1・2・3・6・10・15・20回。それ以外は1回のみ）
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります（新規お取り引きの場合は、事前にご登録が必要です。下記までご連絡ください）。 0120-251-528

●送料

お買い上げ金額の合計が5,000円以上の場合は、全国どこでも送料は無料
5,000円未満の場合は、全国一律525円（消費税込）

●消耗品カタログのご請求

消耗品のカタログをお送りいたします。上記の電話・FAX・インターネットにてお送り先をご連絡ください。

索引

お問い合わせ確認票

コピーしてお使いください。
電話にてエプソンインフォメーションセンターへお問い合せいただく際にご使用ください。あらかじめご記入のうえ電話をおかけいただくことにより、トラブルの解決がよりスムーズに行えます。

*印については次のページを参照してください。

プリンタ機種名		
コンピュータメーカー名		
コンピュータOS	□Windows95[*1]	Ver.
	□Windows98[*1]	Ver.
	□WindowsNT4.0	Ver.
	□Windows2000	Ver.
	□MacOS[*2]	Ver.
	□その他	Ver.
接続ケーブル	EPSON製　□USBCB1　□PRCB4N　□PRCB5N　□#8238	
	その他　□メーカー名	型番
	バッファ、切替機など	□有り □無し
セルフテスト印刷	□正常　□正常でない お問い合せの際は念のため、お手元に印刷結果をご用意ください。	
プリンタドライバ	プリンタドライバのバージョン[*3]	Ver.
	CD-ROM（またはFD）のリビジョン[*4]	Rev.
	TestPageの印刷（Windows95/98/NT4.0/2000のみ） □正常 □正常でない	
	プリンタドライバの再インストール □行った □行っていない	
アプリケーションソフト	メーカー名	
	ソフト名	
	バージョン Ver	
	上記アプリケーションソフトで他のデータを印刷した場合 □正常に印刷できる □正常に印刷できない	
	他のアプリケーションから印刷を行った場合 使用アプリケーション名 □正常に印刷できる □正常に印刷できない	
今回のようなトラブルの現象は以前からありましたか？ □以前からあった □以前はなかった		
今回のようなトラブルはどのくらいの頻度で発生しますか？ □毎回必ず発生する □ほとんどの場合に発生する □発生したりしなかったり		
お客様IDコード（取得済みの方のみ）		プリンタの製造番号[*5]

お問い合わせ確認票記入のために

*1 Windows95/98のバージョン（Ver.）の確認方法

［スタート］から［設定］－［コントロールパネル］を開きます。
［システム］のアイコンをダブルクリックして開き、［情報］（［全般］のタブの画面の［システム］の部分で［Windows95/98］の次に記載されている部分が該当します。

*2 Mac OSバージョン（Ver.）の確認方法

［アップルメニュー］から［このコンピュータについて］を選択します。ウィンドウの右上にバージョンが表示されます。

*3 プリンタドライバのバージョン（Ver.）の確認方法

Windowsの場合
プリンタドライバのプロパティ画面の左下に表示されます。

Macintoshの場合
［印刷］ダイアログや［用紙設定］ダイアログの上部に表示されます。

*4 プリンタドライバのリビジョン（Rev.）の確認方法

お客様がプリンタドライバのインストールに使用されたCD-ROMに記載の「Vol.」が該当します。

*5 プリンタの製造番号の確認方法

プリンタの保証書、もしくはプリンタ本体背面に貼ってあるシールに記載があります。

修理依頼票

お手数をおかけして申し訳ございませんが、迅速・確実な修理をするために、必要事項をご記入の上、必ず製品に添付してください。

☐ 初めての故障
☐ 再修理

機 種 名		製造番号	
お買上店名		お買上日	年　月　日
修理品への添付	☐ 保証書　☐ケーブル（型番：　　）☐（　　） ☐（　　）☐（　　）☐（　　）		

☆発生日時/頻度について、ご記入ください。

初めて故障した日時	年　月　日
故障が発生するとき	電源オン時・使用開始直後・使用開始後　分/時間してから・電源オフ時
故障頻度	使用開始時のみ・いつも・ときどき（　時間/ 日に 回）・まれ（　週間に 回）

☆故障内容について、文字・イラストなど、具体的にご記入ください。

【お願い】印刷結果の不具合は、必ず“印字サンプル”を添付してください。用紙によって発生する場合は、該当紙の添付をお願いします。また、特定のファイルで現象が発生する場合、差し支えなければ、データの添付をお願いいたします。	
故障発生時の用紙	種類：　メーカー：　規格：
平均使用時間	時間/日（　枚/A4相当）or　時間/月（　枚/A4相当）

☆お客様のコンピュータについてご記入ください。

コンピュータ	メーカー名：　モデル名：
メモリサイズ	標準（　）MB＋増設（　）MB
接続インターフェイス	☐パラレル　☐双方向パラレル　☐SCSI　☐シリアル　☐USB　☐その他 ボード（型番：　メーカー：　） ケーブル（型番：　メーカー：　）

☆故障発生時のソフトウェアをご記入ください。

OS	☐MS-DOS　☐Windows 3.1　☐Windows 95　☐Windows 98　☐Windows NT ☐Windows 2000　☐Mac OS（Ver.　）☐ネットワーク ☐その他（　）（Ver.　メーカー：　）
プリンタドライバ	ドライバ名　Ver.　メーカー：
アプリケーション	アプリケーション名　Ver.　メーカー：

＊対応しているOSは、ご使用の機種により異なります。取扱説明書にてご確認ください。

フリガナ お名前		電話番号　TEL： FAX：	日中の連絡先 TEL：
ご住所	〒		お客様IDコード (取得済みの方のみ)

＊保証期間中の修理依頼については、必ず保証書を添付してください。

FAXオーダーシート エプソンOAサプライ株式会社 行

ご発注日　　年　月　日

このページをコピーしてお使いください。

オーダーシート枚数 合計　　枚の　　枚目

●個人でのお申し込み

フリガナ お名前	TEL.　（　　）	FAX.　（　　）
	E-mail	
ご住所	〒	

●法人でのお申し込み

フリガナ	
貴社名	部署名
ご担当者名	E-mai
TEL.　（　　）	FAX.　（　　）
ご住所	〒

●お申し込み商品

商品名	申込番号	数量	標準価格（単価）	小計（数量×標準単価）

●お支払い方法

ご希望のお支払い方法をチェックしてください。

□クレジット　□代金引換　□銀行振替
（※銀行振込は法人での申し込みに限ります）

クレジットカードでお支払いをご希望の方はご記入ください。

□UC　□JCB　□VISA　□MC　□DC(1回払のみ)

□NICOS（ご希望のお支払い回数をチェックしてください。）

支払回数　□1回　□2回　□3回　□6回　□10回
□15回　□20回　□リボルビング払い

カード会員番号(左詰めでご記入ください)

カード有効期限　（西暦）20　　年　　月

お買上合計金額	
消費税	
送料（税込み）	
お支払い金額合計	

お申し込みFAX番号

0120-557-765

または03-3258-7690/03-3258-1282

★24時間受付★土・日・祝祭日の受付分は翌営業日の手配となります。

夜間指定（PM6:00～8:00）□する□しない　ご希望配達日　月　日
お買い上げ合計金額が5,000円未満の場合は送料525円がかかります。
(標準価格)

No. M9904001

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律）
刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　など

電波障害自主規制について　ー注意ー

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

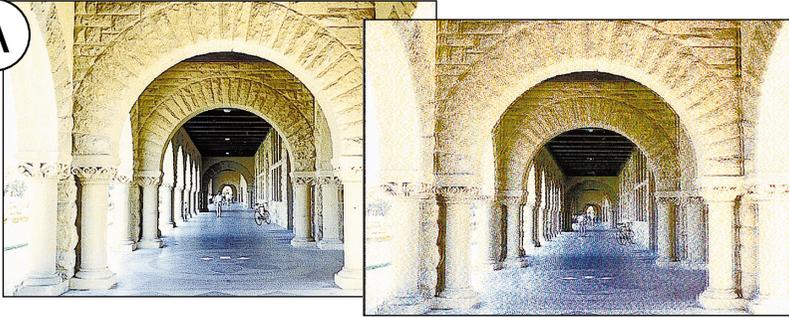
ご注意

(1)　本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2)　本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3)　本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4)　運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5)　本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6)　エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

トラブルチェック用印刷サンプル

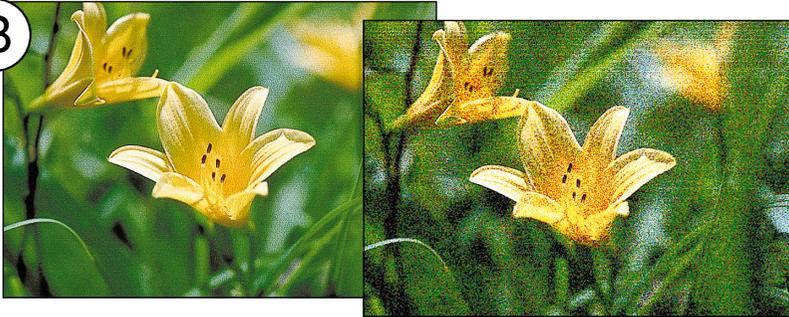
以下の印刷サンプルを参照して現在の状態にあてはまるものがあれば、解説を確認してください。

ギャップ調整が必要と思われます。

A

手順 ⇨ 本書「ギャップ調整」97ページ

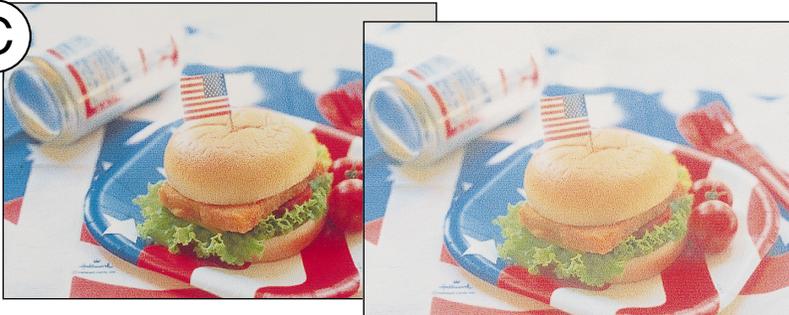
解説 ⇨ ユーザーズガイド「印刷品質が良くない」187ページ

クリーニングが必要と思われます。

B

手順 ⇨ 本書「ヘッドクリーニング」96ページ

解説 ⇨ ユーザーズガイド「印刷品質が良くない」187ページ

インクカートリッジの状態およびプリンタドライバの設定を確認する必要と思われます。

C

解説 ⇨ ユーザーズガイド「印刷にムラがある、薄い、または濃い」188ページ

印刷している用紙を確認する必要があると思われます。

D

解説 ⇨ ユーザーズガイド「印刷がきたない、汚れる、にじむ」188ページ

印刷方向を変更する必要があると思われます。

E

解説 ⇨ ユーザーズガイド「印刷にムラがある、薄い、または濃い」188ページ